

Broadmedia & Entertainment Inter BEE

Broadmedia & Entertainment Inter BEE

開催概要

名称: Inter BEE 2023
会期: 幕張メッセ会場 2023年11月15日(水)~2023年11月17日(金)
オンライン会場 2023年11月6日(月)~2023年12月15日(金)
会場: 幕張メッセ(千葉県美浜区中瀬2-1)
入場: 無料(全来場者登録入場制)
主催: 一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)
後援: 総務省、経済産業省(建制順)

NHK
一般社団法人日本民間放送連盟
一般社団法人電波産業会
一般財団法人デジタルコンテンツ協会
一般社団法人放送サービス高度化推進協会(順不同)

協力: 一般社団法人IPTVフォーラム
一般社団法人衛星放送協会
特定非営利活動法人映像産業振興機構
一般社団法人映像情報メディア学会
公益社団法人映像文化製作者連盟
一般社団法人カメラ映像機器工業会
公益社団法人劇場演出空間技術協会
一般財団法人最先端表現技術利用推進協会
3Dコンソーシアム
一般社団法人全国地域映像団体協議会
全国舞台テレビ照明事業協同組合
先進映像協会 日本部会
超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム
一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム
一般社団法人デジタルメディア協会
一般財団法人電波技術協会
一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構
一般社団法人日本アド・コンテンツ制作協会
協同組合日本映画撮影監督協会
一般社団法人日本映画テレビ技術協会
協同組合日本映画テレビ照明協会
協同組合日本映像事業協会
一般社団法人日本オーディオ協会
一般社団法人日本音楽スタジオ協会
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟
一般社団法人日本CATV技術協会
公益社団法人日本照明家協会
一般社団法人日本動画協会
NPO 法人日本ビデオコミュニケーション協会
公益社団法人日本舞台音響家協会
日本舞台音響事業協同組合
一般社団法人日本ポストプロダクション協会
特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会
一般財団法人プロジェクションマッピング
マルチスクリーン型放送研究会
運営: 一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会(JESA)



REVIEW 2023

Broadmedia & Entertainment Inter BEE REVIEW 2023



www.inter-bee.com

REVIEW 2023

Table of Contents

Graphic Report

Index	00
Topics	01
Exhibition Department	02
INTER BEE FOURM	04
INTER BEE EXPERIENCE(Speaker)	08
INTER BEE EXPERIENCE(Hp/Mp)	10
INTER BEE BORDERLESS	12
INTER BEE IGNITION × DCEXPO	16
INTER BEE IP PAVILION	20
INTER BEE CREATIVE	24

Exhibition Report

Exhibit Map	28
Exhibitor List	32

Forum & Event Programs

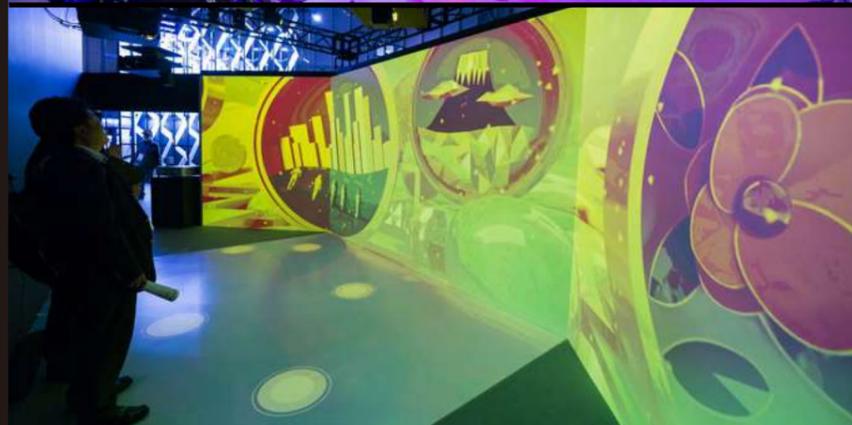
Opening & Keynote / INTER BEE FOURM	34
Exhibitor Seminar /	
JBA Symposium of Broadcast Technology	37
INTER BEE EXPERIENCE / ROKEBEN Lounge	38
INTER BEE IP PAVILION	39
INTER BEE BORDERLESS	40
INTER BEE CREATIVE	41
INTER BEE IGNITION × DCEXPO	42
INTER BEE ONLINE	43

Results

Visitor Profile	44
Exhibitor Profile	47
Publication and Promotion	48



Media & Entertainment



1,005社・団体が出展、幕張・オンライン会場合わせて延べ45,694名が参加



加速するIPリモートプロダクション



オーディオと通信の融合



急速に進化するAI技術



先端テクノロジーで進化するクリエイティビティ



配信・放送ボーダレス時代



Photo by: Shigeharu Yoshihara
Akane Inagaki
Toshitaka Nakamura
SHIRO-FILM
Katsumi Miyasaka





Professional Audio

プロオーディオ部門

プロオーディオ部門の出展者数は266社、小間数は309小間となり、コロナ禍当時から順調に出展規模も回復して会場内には熱気が戻った。

世界的にコンテンツ制作やライブエンターテインメントにおける音響関連市場が隆盛となるなか、特にイマーシブオーディオシステムのデモを数社が競って行うなど、次世代音響システムを体験しようとする多くの来場者で賑わった。



Video Production / Broadcast Equipment

映像制作 / 放送関連機材部門

Inter BEEの骨格と言える映像制作 / 放送関連機材部門の出展者数は515社、小間数は1,156小間となり、この部門の規模も順調に回復傾向となった。

バーチャルプロダクションに関連する展示が増加するなど、配信動画制作から放送番組制作、映画作品制作まで制作規模に応じて各分野に対応する幅広いシステム、機器・機材が来場者の注目を集めた。



Entertainment / Lighting

エンターテインメント / ライティング部門

今年は名称を一新し、部門強化に向けた再出発を行ったエンターテインメント / ライティング部門。

出展者数は101社、小間数は122小間と部門全体の規模としてはまだこれからだが、特別企画INTER BEE IGNITION×DCEXPO内に新設されたスタートアップエリアをはじめとして、多くのコンテンツ制作技術関連企業やエンターテインメント及び照明関連企業が出展した。



Media Solutions

メディア・ソリューション部門

動画ネット配信の増加やクラウド、AIなど、テクノロジーが急速に進化するメディア環境に対応して新たな名称となったメディア・ソリューション部門。

出展者数は123社、小間数117小間と規模も拡大し、内容もこれまで以上に充実したものとなった。特別企画INTER BEE CREATIVE内には新企画の動画マーケティングラウンジも設置され、動画活用の裾野拡大の場としても展開された。



INTER BEE FORUM

進行する変革から生まれ、歩み出す先にあるものは？
多角的な視点から語られた可能性と未来へのビジョン



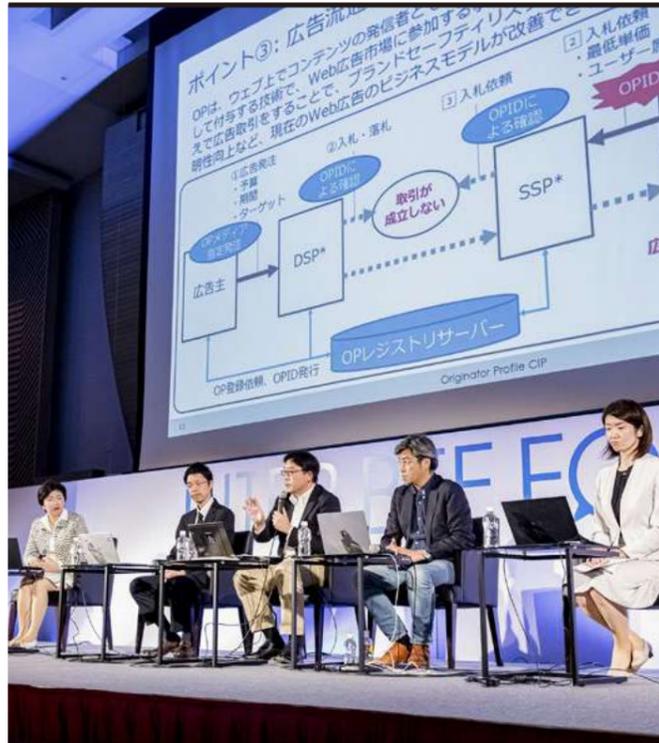
今年のINTER BEE FORUMは幕張メッセ・国際会議場を会場に、基調講演9セッション、特別講演9セッションの合計18セッションがすべてリアルコンファレンスとして実施され、いずれのセッションにも多くの聴講者が詰め掛けた。

初日午前Opening & Keynoteでは主催者挨拶に続き、総務省情報流通行政局長 小笠原陽一氏による「放送政策の最新動向」と日本放送協会理事・技師長 寺田健二氏による『「新時代へのチャレンジ」に向けたNHKの取り組み』の2つのオープニング基調講演が行われた。また同日午後からは、INTER BEE IP PAVILION 基調講演として「IPリモートプロダクションを成功させる回線デザインを考える」、音響部門基調講演の「新しい音創りへのチャレンジ! 2023 ~ディレクターが望む音、エンジニアが創りたい音、リスナーが聴きたい音とは~」が行われ、メディア環境の変化を踏まえた新世代の放送局や音のコンテンツ制作におけるこれからが語られた。

各分野のエキスパートが登場する特別講演の初日は、バーチャルプロダクションとボリュメトリックキャプチャの最前線を発信する「アドバンスド・イメージング・ユニバーシティ 2023」と、データから放送と配信における視聴者動向を考える「視聴=聴取データから見える『放送とネット』のユーザー動向」の2つのセッションが行われた。コンテンツ制作技術の動向とコンテンツユーザー動向という扱う分野としては対照的だが、作り手側と受け手側の双方からの現在と未来が見えるセッションとなった。

Date:	Nov. 15-17
Place:	International Conference Hall
Area:	1,277 sqm (4 Rooms)
The Number of Sessions:	25 sessions
The Number of Speakers:	86 speakers
The Number of Audiences:	3,943 audiences (Total)





2日目の基調講演は、「IPTVフォーラム：フェイクとの戦い、メディア業界の取り組み ~オリジネーター・プロファイルとCAI/C2PA~」、INTER BEE BORDERLESS 基調講演「ローカル局社長が語る地域メディアの“未来ビジョン”」の2つのセッションが行われた。また特別講演では「解説対談：欧州メディア展望議論の行方」、「放送番組・CM制作におけるCO2削減の取り組みと今後の方向」、「AI・機械学習が創り出す新しい音と音楽」、「地上デジタルテレビジョン放送の高度化における音声符号化方式について」の4セッションが行われた。どのセッションも、急速に進むテクノロジーやメディア環境の変化を背景に、それぞれの分野の現在の動向と課題、そして未来に進むための提言やビジョンが発信され、多くの業界関係者の注目と関心を集めた。

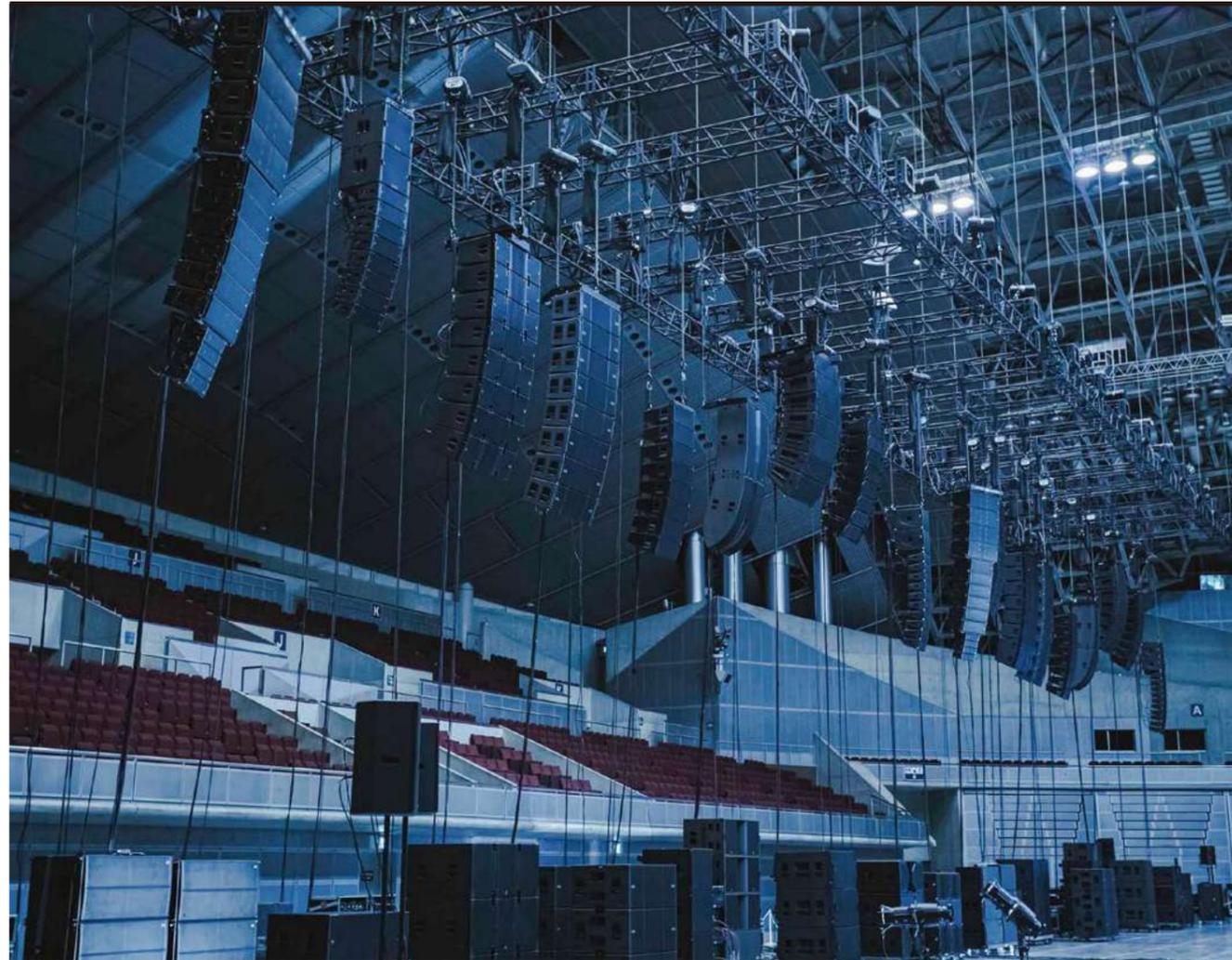


3日目は、INTER BEE IGNITION×DCEXPOによる「HMDの進化が駆動するVRの未来」、「エンターテインメント産業とデジタル通信の融合における最新動向」、INTER BEE CREATIVEによる「映像の力は社会に何を問うか?そしてその可能性とは?」の3つの基調講演が行われた。特別講演では、「ラジオ放送の近未来を語り尽くす ~課題と展開~」、「JEITA AVC 部会企画: 大学生のコンテンツ視聴スタイルの変化とメーカーの進むべき方向性について」、「特別鼎談: AIとフェイクと放送」が行われた。この日のセッションも未来への道筋を提言するものだったが、特に注目されたのは、戦火が続くウクライナからの特別ゲストとしてINTER BEE CREATIVE基調講演に登壇した女性映画監督のオレシア・モルグレッツ=イサイエンコ氏。同氏が語ったメッセージは、揺れ動く現在の世界にあって映像作品の持つ力と可能性を実感させるものとなった。



INTER BEE EXPERIENCE X-Speaker

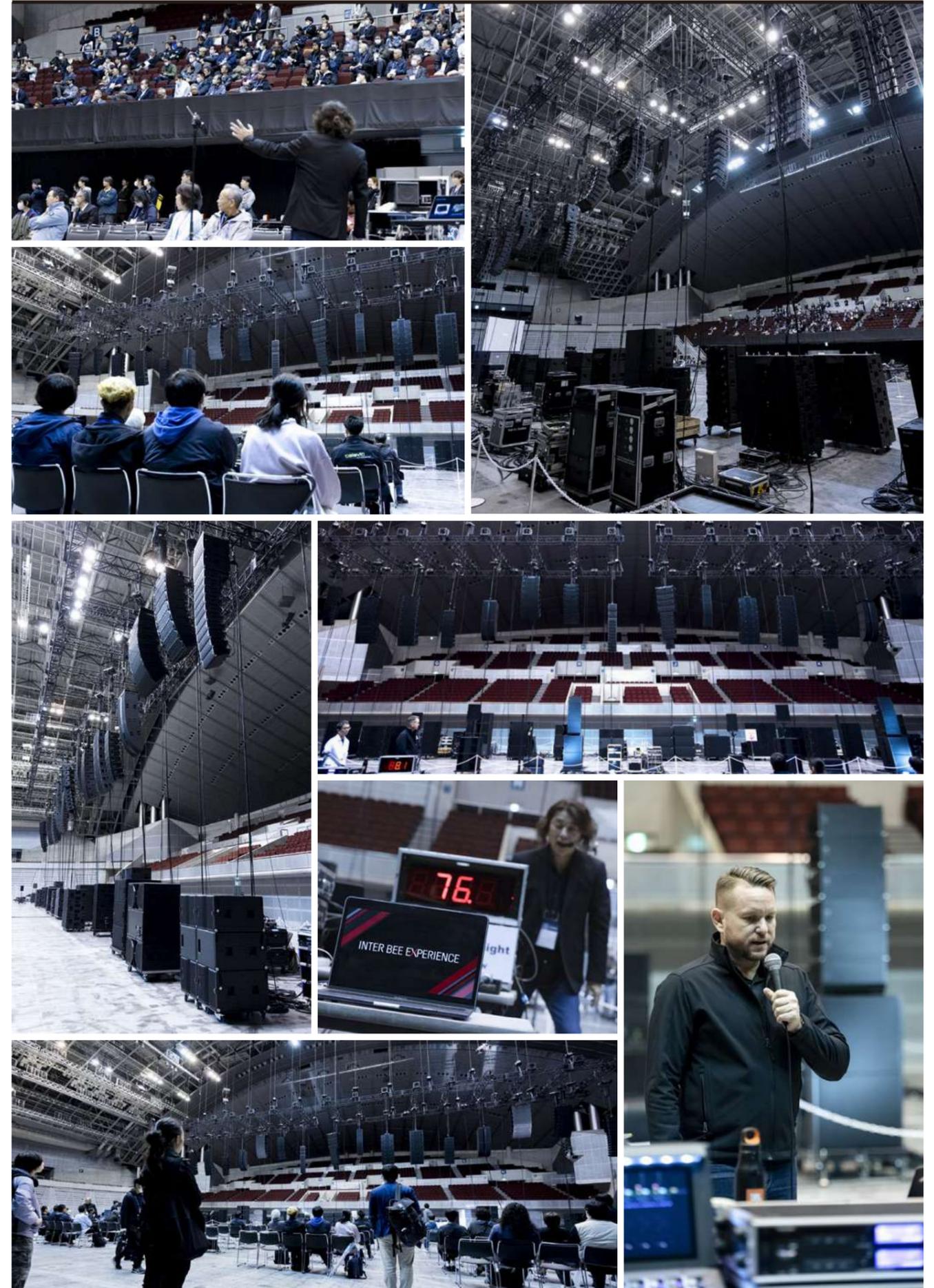
ライブエンターテインメント市場の復活が本格化し、
3 カテゴリー 13製品のSRスピーカーが競演



2023年は世界各地で、ライブエンターテインメント市場の復活再生が本格化した年となった。日本国内でも既に、2022年にはこれまで過去最大だったコロナ禍以前の2019年をコンサート公演数で上回り、2023年は観客数、売上高とも上回ることが推計されている。また横浜では、世界最大級の音楽コンサートに特化した約2万人収容の「Kアリーナ横浜」がオープンし、一方でアメリカ・ラスベガスには、同じく2万人収容で内外両面をほぼ完全に高精細LEDパネルで覆った球形アリーナ「Sphere」が誕生して大きな話題となった。

こういった市場動向を背景に、昨年3年振りに再開されたINTER BEE EXPERIENCE X-Speaker(SRスピーカー体験デモ)は3カテゴリー 13製品のSRスピーカーが揃い、2019年以来的3日間開催に延べ5千名以上の来場者が音の競演を楽しんだ。

X-Speakerというイベントの最大の特長は、ライブエンターテインメントに実際に使用されているイベントホールを会場に、各製品が同じ条件でプレゼンテーションとデモを行い、その個性や能力を圧倒的な試聴体験空間の中でアピールするということにある。大型フラッグシップモデルの大迫力はもちろん、小型化が進むラインアレイやポイントソース/スタンド型ラインアレイも驚くような能力で音を表現する。2014年にこのイベントが開始されて以来、2年間の休止があったものの今回で10年目8回の開催と続いて来たのも、そんな特長が遺憾なく発揮されているからだろう。ワールドクラスの試聴イベントと評価されるなかで、進化する各製品と高い品質の音を追求する日本のプロオーディオ業界に支えられてきたからだ、そう実感させられる会場だった。



Date:	Nov. 15-17
Place:	Event Hall
Area:	3,098 sqm (Arena)
The Number of Products Brands:	11 brands, 13 Products
The Number of presentations:	26 presentations
The Number of Audiences:	5,141 audiences (Total)

INTER BEE EXPERIENCE *X-Headphone* | *X-Microphone*

4年振りに再始動したX-Headphone/X-Microphone、音の自由な体験機会の復活に多くの来場者が集まる



もうひとつのINTER BEE EXPERIENCEであるX-Headphone/X-Microphone(ヘッドフォン/マイクロフォン試聴体験展示)は、来場者が自由にプロユース機器を試聴できる体験展示として、2016年より多くの来場者に支持されてきた人気特別企画だ。しかし、不特定多数の方が触れる製品を扱うという性格上3年間の休止を余儀なくされ、本開催でようやく4年振りに復活することとなった。

今回は新型コロナウイルス感染症が5類へと移行された5月以降での実施検討、参加募集となったこともあって一時は再開実施も危がまれたが、世界的な音響関連機器市場の好調にも後押しされ、ヘッドフォンには6ブランド4社、マイクロフォンは5ブランド4社の参加をいただいて無事に実施することができた。

会場には3日間で延べ3千4百名もの来場者が訪れ、ヘッドフォンを耳に高品質の音で楽曲を楽しみ聴き比べをされる方、また実際に声を出してマイクロフォンの特性を確認する方と、この特別企画らしいかつての風景が戻って来た。特に目立ったのは、多くの若い層の来場者が熱心に体験していたことだ。音響や映像の専門課程に学ぶ学生をはじめ、プロオーディオ業界の来場者はもちろん、映像制作や配信関係などの来場者も多かった。音と映像によるコンテンツ制作・配信には、ヘッドフォンとマイクロフォンは欠くことのできないものだ。高品質のそれらを自由に試聴できる本イベントは、そういった機器に触れる機会がまだ少ない若い人たちに、貴重な体験の場を提供するものであることがあらためて実感された。



Date:	Nov. 15-17
Place:	Exhibition Hall 1
Area:	112 sqm
The Number of Products Brands (Headphones):	6 brands
The Number of Products Brands (Microphones):	5 brands
The Number of Audiences:	3,403 audiences (Total)

INTER BEE BORDERLESS

CONNECTEDから名称変更した初年
最先端のセッションでコロナ前の盛況に戻る



2014年から続いてきた特別企画INTER BEE CONNECTED。2023年は名称をBORDERLESSに変更し、放送と通信のCONNECTが完了した前提でのセッションを展開。8つの企業及び団体の出展で展示会場も盛り上がり、コロナ前の熱気が会場に戻ってきた。

国際会議場で行われた今年の基調講演は「ローカル局社長が語る地域メディアの“未来ビジョン”」では、東日本放送、CBCテレビ、山陰中央テレビジョン放送、山陰中央テレビジョン放送の4人の社長に未来へのビジョンを伺い、全国から集まった聴講者に勇気、自信、覚悟を地域に持ち帰ってもらった。

オープンステージにおける企画セッションでは、3日間を初日は「ボーダレス・デイ」2日目は「ローカル・デイ」最終日は「フューチャー・デイ」とテーマを設定し、来場者にわかりやすくセッションをアピールした。INTER BEE BORDERLESSに改称した最初の年としては、コロナ禍からようやく人々が解放されたこともあり、3日間で延べ2000人近い聴講者を集め、どのセッションも用意した席が埋め尽くされた。テーマ設定によりセッションがうまく整理され、興味に合わせて選びやすいプログラムとなった。個々のセッションの内容も掘り下げたものとなり、最前線の議論を聴講者に提供できた。

Date:	Nov. 15-17
Place:	Exhibition Hall 4
Area:	408 sqm
The Theme of Keynote Speech:	The Head of a Local Station Shares Thoughts on the Future of Regional Media
Capacity of main stage:	200 seats
The Number of Sessions:	8 sessions
The Number of Speakers:	35 speakers
The Number of Audiences:	2,465 audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	8 exhibitors





初日15日は恒例の電通メディアイノベーションラボによるセッションから始まり、コロナ前に劣らない聴講者で会場が埋め尽くされた。これに続いて、報道DX化をテーマにしたセッション、データアナリティクスによるドラマの新たな未来を議論するセッションが展開され、いずれも盛況となった。

2日目の最初はローカル局の地域課題ビジネスの事例を集めたセッションで、オープンステージ会場での最大の聴講者となった。13時からは国際会議場で実施した基調講演では「ローカル局社長が語る地域メディアの“未来ビジョン”」と題して4人の社長が登場。ローカル局にとって難しい時代だからこそ、白熱した議論となった。15時からはオープンステージ会場に戻りケーブルテレビで新たな地域密着番組に挑む地上波テレビ局出身者によるセッション。元日本テレビの土屋敏男氏も登壇し、ケーブル局、地上波局双方から多くの聴講者が集まった。

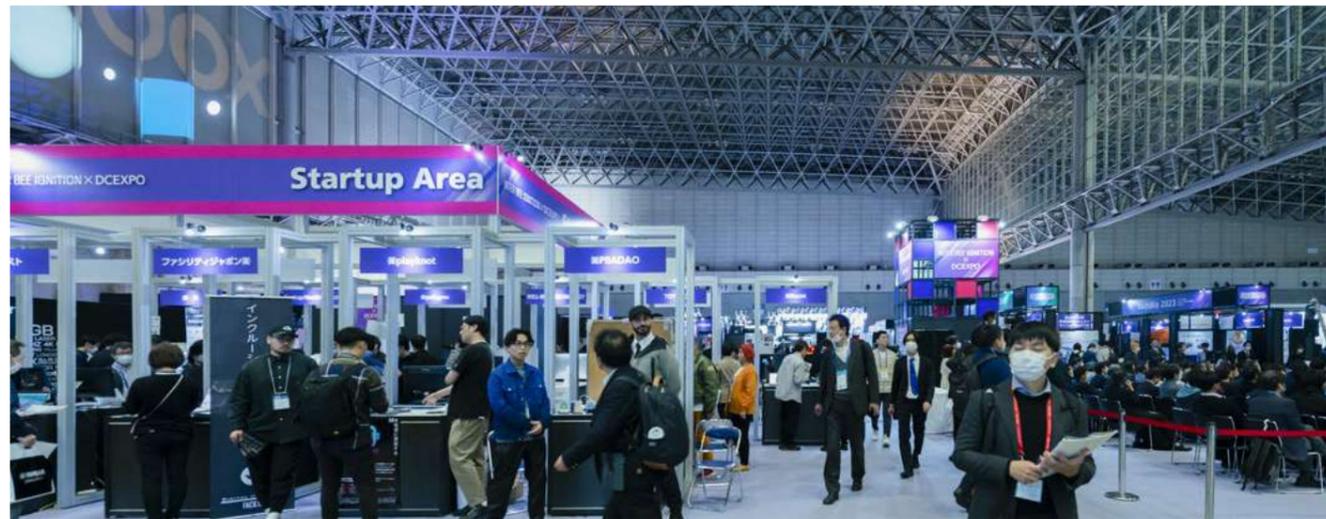
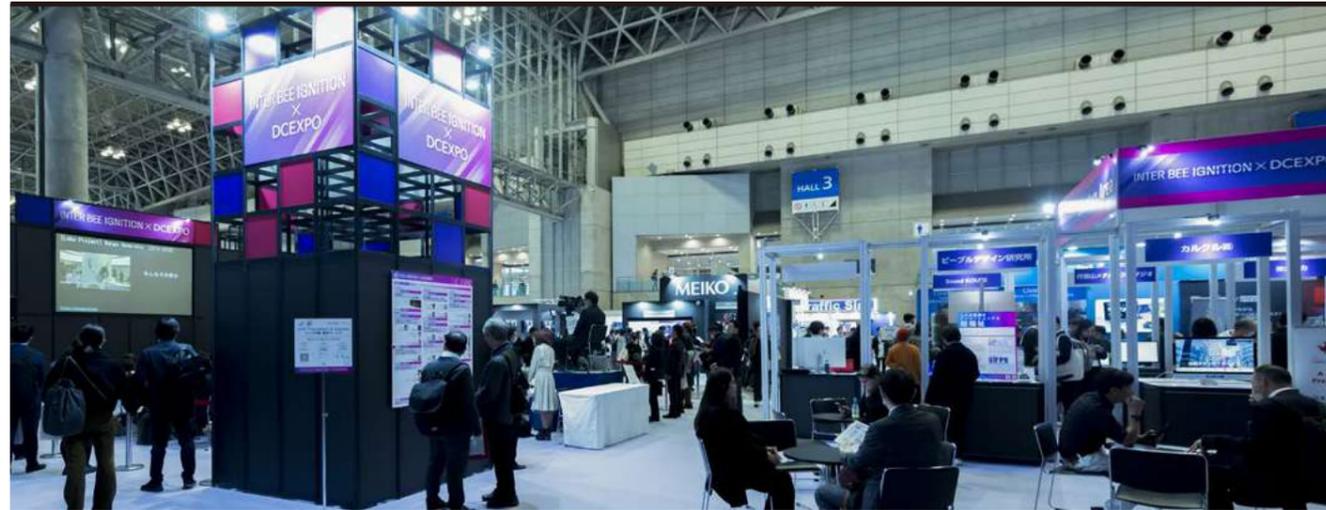


3日目10時からは去年の基調講演の続編として再びCTVの海外最新動向を紹介するセッション。今回はコンサル業界からの登壇者も加わりさらに内容の濃い議論となった。13時からセッションにはU-NEXT、TVer、FODという出自の違うVOD事業者のキーマンが登場。その前のCTVセッションとも繋がる最前線の話が聞けた。15時からは技術を軸に放送の未来像を議論する意欲的なセッション。ドイツからの登壇者も加わり、また会場からの意見も募る実験的な手法で盛り上がり、会期を締めくくった。



INTER BEE IGNITION × DCEXPO

表現とメディアを変革・拡張する無限の可能性
 スタートアップから発信された新たなテック&クリエイティビティ



今年のINTER BEE IGNITIONも、昨年に引き続きDCEXPO(デジタルコンテンツEXPO:一般財団法人デジタルコンテンツ協会主催)と共催し「INTER BEE IGNITION×DCEXPO」として展開された。

創造と表現、そしてそれを媒介し伝えるメディアの変革と拡張は、コロナ禍を経て加速度的に進行し続けている。変革の先に生まれる未来のカたちは現在進行形で次々に姿を現し、無限の可能性を提示する。今回のINTER BEE IGNITION×DCEXPOでは新しく「スタートアップエリア」を設置し、そういった表現とメディアの未来の牽引者となり得る様々なスタートアップ企業が参画した。同時に、DCEXPO企画では経済産業省「令和5年度コンテンツ海外展開促進事業」による支援技術が展出する「TechBiz2023:Technology Business Acceleration Program」や、大学・企業等の研究者に研究発表の場を提供する「Innovative Technologies 2023」を展開した。企画エリア内には合計で47のブースが展開する充実した内容となり、中でも国内で初デモとなるMeta「Retinal-resolution Varifocal VR」は大きな注目を集めた。

また、基調講演の「HMDの進化が駆動するVRの未来」をはじめとして、3日間を通じてオープニングで行われた各セッションでは、XR/ハプティクス、クリエイティブAIといった進化するクリエイティブテクノロジーからDAO型IPやフィジタルの可能性など、クリエイティビティを変革・拡張しエコノミー化、グローバル化するための様々な情報やメッセージが発信され、連日多くの熱心な聴講者を集めた。

Date:	Nov. 15-17
Place:	Exhibition Hall 3
Area:	750sqm
The Theme of Keynote Speech:	The Future of VR Driven by HMD Evolution
Capacity of main stage:	60 seats
The Number of Sessions:	14 sessions
The Number of Speakers:	50 speakers
The Number of Audiences:	699 Audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	47 exhibitors





今回設置されたスタートアップエリアには、初回にも関わらず21社のスタートアップ企業が参加。各ブースからは多種多様なコンテンツ制作テクノロジーや表現関連技術が提示され、3日間に渡って多くの来場者が熱心に展示を見学しブース担当者と対話をする姿が見られた。

プラットフォーム関連からコンテンツ制作ツールまで、各スタートアップが発信する最新のテクノロジーは、会場を訪れたクリエイターやメディア関係者に多くのインスピレーションを提供すると同時に、2日目には「未来のメディア共創へ：テレビ局×スタートアップピッチ」と題して、テレビ局に求められるソリューションを持つスタートアップを集めてテレビ局担当者に投げかけるという、新しいピッチの試みが行われた。その後は「スタートアップネットワーキングセッション」も行われ、その熱気はこの場が新たなクリエイティブエコノミー形成の発火点となることを予感させるものだった。



恒例の「先進映像協会ルミエール・ジャパンアワード2023表彰式」でスタートしたオープンステージでは、INTER BEE IGNITIONとDCEXPOが企画する数多くのバラエティに富んだセッションが3日間を通じて展開された。AI、Web3.0、Apple Vision Pro、メディアアート、Vライバーなどのテーマで、最新のテクノロジーとクリエイティブなアプローチについて議論された。聴講者は未来のエンタメのアイデアやビジネスの可能性について深く掘り下げる貴重な機会となった。

また連日、このステージを使って出展者によるプレゼンテーションや「デジタル・ライブ・ペインティング」「ウェアラブルシステム」等のデモンストレーションも実施され、展示だけでは訴求できない新しいイノベーションが披露された。



INTER BEE IP PAVILION

Media over IP技術による「系列局間のシステム共有」手法を体感！
ユーザーとベンダーの垣根を超えた世界最大級の連携で、
IP接続環境を実現



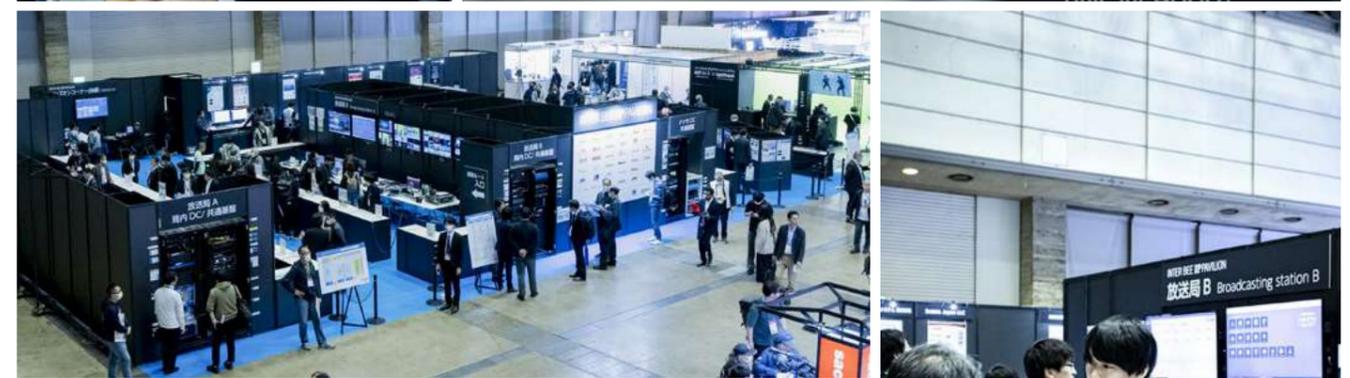
今回で6回目となるInter BEE 特別企画「INTER BEE IP PAVILION」。日本国内での放送局のIP化に向けて、常にその最前線で最新の情報を発信し続けている。

40の企業／団体が協力したIP PAVILION。企画立案・事前検証・プロモーションのための特別インタビュー動画の作成など、ユーザー側とベンダー側が協力し、Media over IPの基本・導入・応用および、今後の動向など、Media over IPに取り組む企業・団体のそれぞれのニーズに応じた展開を目指した。

今年のテーマは、“Media over IP技術による「系列局間のシステム共有」手法を体感”。今回初めて、従来の“放送局における制作IPシステムの紹介”をさらに拡張させ、Media over IP技術をフルに活用した複数の放送局と外部のデータセンターとの連携デモ環境を構築した。

アフターコロナを過ぎての開催となった今回は、ハンズオンコーナーを設置。一部のシステムは来場者が実際に体験できるなど、放送局におけるIPの導入を検討する技術者・経営者層などの幅広い来場者が、Media over IP技術を活用した現場の状況を実感・体感した。

「INTER BEE IP PAVILION」ブースにおいては、「Media Operation Center : MOC」[放送局A / 放送局B]にサブマスターといったオペレーションルームと共通基盤とともに、連携するデータセンター【メッセDC】をデモ環境として設置。外部のデータセンターとしては、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ提供の【大手町DC】、さくらインターネット提供の北海道にある【石狩DC】を外部スタジオとして設置した。



Date:	Nov. 15-17
Place:	Exhibition Hall 3
Area:	426 sqm
The Number of Participant Companies:	34 companies
The Number of Adviser:	6 companies
The Theme of Keynote Speech:	Circuit Design to Achieve Successful IP Remote Production
The Number of Sessions:	27 sessions
The Number of Audiences:	931 Audiences (Total)
The Number of Booth Tours:	9 Tours
The Number of Participants:	116 Participants
The Number of Exhibitors:	8 exhibitors

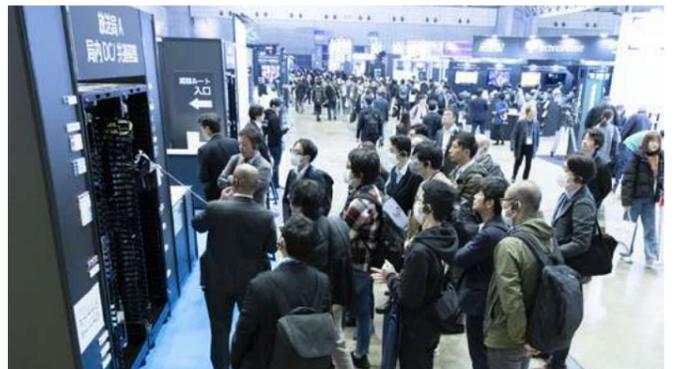
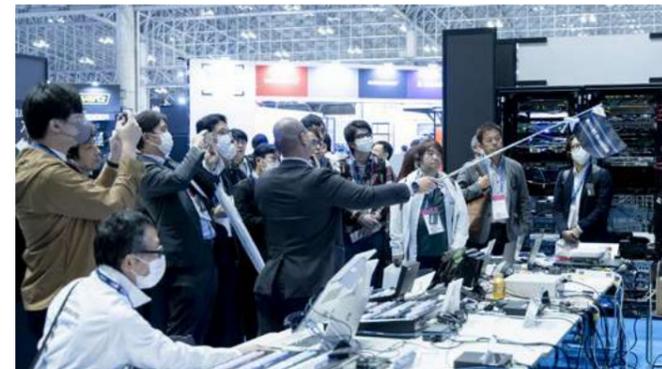


技術的な側面では、ST 2110 ベースの放送機材を幕張と石狩に配備し、それぞれGNSS アンテナとPTP Grandmaster Clock を使用してPTPによる同期システムを構築した。メッセDCではIP マスターシステムとIP 監視基盤を集約し、各放送局との接続には1Gbps 物理回線接続を基本とし、ST 2110-22 を採用した映像伝送方式を使用した。

また、幕張メッセ会場に設置された各放送局とDC間ではWDMやVSF-TR07 を活用して複数の伝送方式をデモンストレーションし、リアルな通信回線をエミュレートできるようネットワークエミュレーター機器を導入。外部DCとの接続には、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ提供のNTT 開発「光化通信 Open APN」を利用した広帯域回線を導入した。



Inter BEE 初日に開催された基調講演「IP リモートプロダクションを成功させる回線デザインを考える」では、通信事業者、放送事業者、ベンダーによるパネルディスカッションに318名が聴講し、会場内で開催したリレー技術セミナーには、3日間合計で613名が聴講した。また、IP スペシャリストによるIP PAVILION ガイドツアーは、会期中9回開催され、3日合計で116名が参加がし好評を博した。



INTER BEE CREATIVE For Entertainment
For Marketing

映像制作のプロフェッショナルから動画活用まで、
クリエイティブとマーケティングの最前線へと進化の一步



INTER BEE CREATIVEはこれまで映像制作のプロフェッショナルを対象に、業界の最新動向や事例、最新制作技術をグローバルな視点で発信し続けてきた。この間、映画やテレビといったハイエンド分野だけでなく、ネット環境の一般化により映像と動画に関わる産業界や市場は日々多様に変化してきている。そういった関連業界動向と市場環境の動きに合わせてINTER BEE CREATIVEは今年、進化に向けた新たな一歩を踏み出した。

進化の第一歩としては、展示エリアを「For Entertainment」と「For Marketing」の2つの分野で展開した。この「For Entertainment」には6ブース、「For Marketing 動画マーケティングラウンジ」には5ブースと合わせて11のブースが設置された。テレビや映画などハイエンドの映像制作業界とそのプロフェッショナルにとっては、Inter BEEは重要な情報獲得と体験やビジネスの場として位置づけられている。「For Entertainment」はそういったハイエンド映像コンテンツ制作のための最新技術を扱い、新たに設けられた「For Marketing 動画マーケティングラウンジ」は、これまでInter BEEがあまり扱って来なかった映像/動画のマーケティング活用分野を対象として、コンテンツ制作企業がビジネスチャンスを獲得するための場として設置された。

一方、会場内のステージでは45分単位の企画セッションを3日間通じて数多く展開し、多角的な視点から映像制作の最前線が発信された。基調講演ではウクライナの女性映画監督であるオレシア・モルグレットツ=イサイエンコ氏を招き、併せて彼女が監督した作品「キャロル・オブ・ザ・ベル 家族の絆を奏でる詩(うた)」の特別上映も行われた。

Date:	Nov. 15-17
Place:	Exhibition Hall 5
Area:	387 sqm
The Theme of Keynote Speech:	What questions does the power of video pose to society? And what potential does it hold?
Capacity of main stage:	100 seats
The Number of Sessions:	18 sessions
The Number of Speakers:	40 speakers
The Number of Audiences:	2,110 Audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	11 exhibitors





ネット上での動画表現が当たり前になっている現在、企業のマーケティングやプロモーションでの動画活用分野の市場は年々急速に拡大し、多くの動画クリエイターや制作会社が参入、そのビジネスも激化している。「動画マーケティングラウンジ」は、Inter BEE がそういったクリエイターや制作会社と市場・クライアントとを繋ぐ役割の一端を担い、より一層の活性化を支援したいという思いのもとに初めて着手したものだ。

動画マーケティングは、動画を持つイメージ表現やエンターテインメント表現の優位性を、商品マーケティングやビジネス訴求に活用する成長分野である。Inter BEE の場においては今回ようやく歩み始めたばかりだが、映像/動画関連産業はこの動画マーケティング分野を一面に据えて今後ますます進化発展して拡大することが予測される。「動画マーケティングラウンジ」設置の試みは、ここがその進化拡大の最前線のひとつになると期待される展開となった。



3日間に渡って多彩な内容で展開された企画セッションは、毎回満席の大盛況となった。

内容も映像制作のリアルタイムテクノロジーやバーチャルライブプロダクション、ポスプロの未来予想図や世界規模の映像制作ワークフローといったプロフェッショナル向けのハイエンドな話題から、ソーシャルメディアのための動画クリエイティブ、HDRやHFRを活かした映像制作と楽しみ方といった個人ベースの動画制作者にも関心のある内容まで、それぞれ45分間を基本としたショートセッションながら、バラエティに富んだ中身の濃いものだった。基調講演に登壇したウクライナの女性監督であるオレシア・モルグレッツ=イサイエンコ氏が、こちらのステージにも初日と2日目にも登場し多くの注目を集めた。

3日目は終日「Adobe Day」となり、映像制作の世界を大きく変えつつある生成AIをはじめ、クリエイティブクラウド、3D、XRコンテンツなど、Adobeならではの映像制作最前線を発信するセッションに多くの来場者が詰め掛けた。



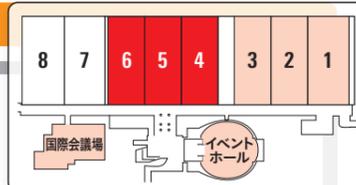
映像制作 / 放送関連機材部門

メディア・ソリューション部門

Hall 6

Hall 5

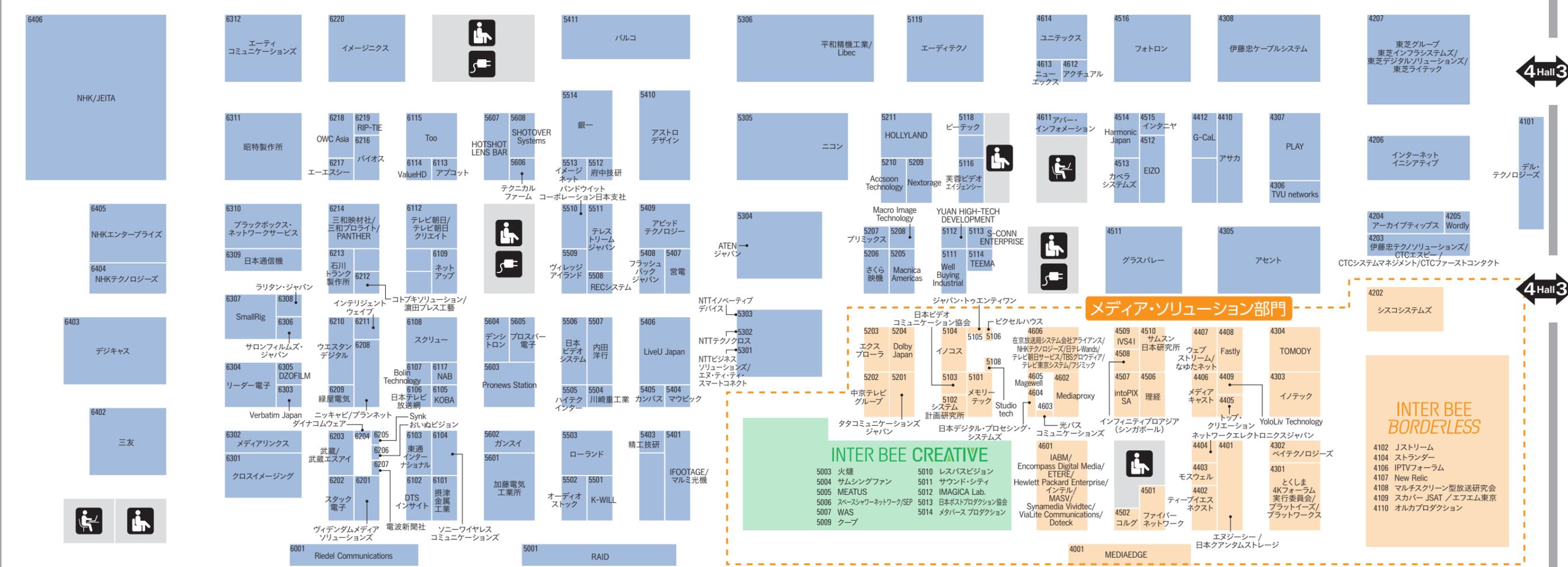
Hall 4



け弁ラウンジ



映像制作 / 放送関連機材部門



メディア・ソリューション部門

INTER BEE CREATIVE

- 5003 火鍵
- 5004 サムシンファン
- 5005 MEATUS
- 5006 スペースシャワーネットワーク/SEP
- 5007 WAS
- 5009 クーパ
- 5010 レスバビジョン
- 5011 サウンド・シティ
- 5012 IMAGICA Lab.
- 5013 日本ポストプロダクション協会
- 5014 メタベース プロダクション

INTER BEE BORDERLESS

- 4102 Jストリーム
- 4104 ストラダラー
- 4106 IPTVフォーラム
- 4107 New Relic
- 4108 マルチスクリーン型放送研究会
- 4109 スカパー JSAT / エフエム東京
- 4110 オルカプロダクション

1F

ミーティングルーム

事務局

救護室

商談ルーム

- テレワーク プース
- 休憩所
- モバイルチャージ ラウンジ
- 食事
- トイレ
- エレベーター

エンターテインメント／ライティング部門

映像制作／放送関連機材部門

プロオーディオ部門



Hall 3

Hall 2

Hall 1

エンターテインメント／ライティング部門

3422 江東電気/特殊映材社

3421 奥拓電子日本

3113 NEC

2517 富士フィルム

2308 キヤノン/キヤノンマーケティングジャパン

1418 ヒビノ/ヒビノインターサウンド

1315 ディーアンドビー・オーディオテクニク・ジャパン

1209 ヤマハミュージックジャパン/ヤマハサウンドシステム

映像制作／放送関連機材部門

3209 AJA / Vizrt / アスク・エムイー AV over IP / MIM

3112 NANLITE/NANLUX (VANLINKS)

2516 シグマ

2406 日立国際電気

2210 オタリテック

1613 シュア・ジャパン

1417 ヒビノ/エレクトロヒビノライティング/ヒビノスペーステック/日本音響エンジニアリング/日本環境アメニティ

1313 アイコニック

1314 日本テックトラスト

1208 ベステックオーディオ/ピーテック

3208 ナックイメージテクノロジー/アスク

3111 アークベンチャーズ

2515 カナレ電気

2405 ビデオトロン

2307 ケンコープロフェッショナルイメージング/アラジノ/マシューズ/ミノニクス

2121 タスカム/ティアック

1516 TAOC/アイシン 高丘グループ

1312 クレセント

1207 タムラ製作所

3207 Godox

3206 インフィレド・ジャパン

2514 アイ・ディー・エクス

2404 コスミックエンジニアリング

2209 ケンコー・トキナー/スリック

2120 エクストリームウェブ

1415 エヌエスイー

1311 オーディオテクニカ

1206 ゼンハイザー・ジャパン

INTER BEE IGNITION X DCEXPO

3304 iDEAKITT	3322 カルクル
3305 ダブルネスト	3323 ビープルデザイン研究所
3306 ファシリテイジャパン	3324 Meta リアリティ・ラボ・リサーチ (from SIGGRAPH 2023)
3307 playknot	3325 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 Embodied Media Project
3308 PBADAO	3326 デジタルコンテンツ協会/アジアグラフ 2023 CG アートギャラリー
3309 Spacial	3327 Pilot
3310 Qconcept	3328 グラフッス
3311 カシカ	3329 ViXion
3312 代官山メタバーススタジオ	3330 Qconcept
3313 Sound KOUBE	3331 テクノスピーチ
3314 瞬景	3332 MITSUME
3315 Sparkup/Meet&Connect	3333 Bocek
3316 polygros	3334 SIGGRAPH Asia 2023
3317 WELL-BEING TECHNOLOGY	3335 TechBiz
3318 TOTEMO	3336 Innovative Technologies
3319 Stroly	
3320 テイラー・イン・バージョンズ	
3321 イコヒー	

2610 NKL/GFM/KFX/イデオモータ/ロボティクス/Backstage

2513 麻布リース

2306 スガイエンタープライズ

1612 フラウンホーファー IIS

1513 メディア・インテグレーション

1412 エス・シー・アライアンス SCAサウンドソリューションズ社

X-Headphone

3302 ヒビノ/テックハウス/Cerevo

3205 メイコー

2609 メディアプラス

2507 シナジー

2303 ネットギア・ジャパン

2109 ミューシカル

1508 UNIKA ELECTRONIC

1306 谷沢製作所

1203 Shenzhen Jayz Photo Industrial

3301 ヴィデナダムプロダクションソリューションズ

3202 東京エレクトロデバイス

2608 DVC

2508 JEITA テープストレージ専門委員会

2302 エル・エス・アイ・ジャパン

2108 ノイトリック

1506 コーンズ テクノロジー

1409 PASGAO/FBW

1202 ミックスウェブ

3303 トラフィック・シム

3203 アルモア

2607 TSUTA-WORLD

2504 サードウェブ

2301 SWIT ELECTRONICS

2107 ノイトリック

1504 須山研

1402 丸文

1201 音響特機

3003 グループ

3102 セムテック

2606 日本無線

2503 マウスコンピュータ

2300 studio.Ricordi

2106 タツタ電線

1503 フォービット

1401 ジェネレック・ジャパン

1200 花岡無線電機



1F

商談ルーム
事務局

- テレワークブース
- 休憩所
- モバイルチャージラウンジ
- トイレ
- エレベーター

Professional Audio		
1414 (株)アートウィズ	1503 公益社団法人日本舞台音響家協会	
1606 I.S.D.Japan(株)	1517 日本舞台音響事業協同組合	
1313 (株)アイコニック	2108 ノイトリック(株)	
1516 アイシン高丘(株)	1409 PASGAO/FBW	
2101 アツデン(株)	1001 花岡無線電機(株)	
2107 アプローズシステム(株)	2114 (有)パルス	
1416 ALLWIN NETWORK CO., LTD.	1417 ヒビノ(株)	
1502 ウェーブプラス合同会社	1418 ヒビノ(株)	
1608 ウエタックス(株)	1418 ヒビノインターサウンド(株)	
1509 UNIKA ELECTRONIC CO., LTD.	1417 ヒビノスペーステック(株)	
1411 (株)HSS Japan	1417 ヒビノライティング(株)	
1605 A.O.M.(株)	1604 (株)フォービット	
1003 ATL-KYOEI	1302 フォステクスカンパニー	
2119 エクストリームウェーブ	1612 フラウンホーファー IIS	
1507 エクセル(株)	1208 ベステックオーディオ(株)/ピーテック(株)	
1403 エスアイ(株)	1204 ボーズ合同会社	
1412 (株)エスシー・アライアンス SCAサウンドソリューションズ社	1512 星野楽器販売(株)	
1415 (株)エヌエスイー	1004 (有)ポルトアンペア	
1408 (株)NMG studio	1005 マール・サウンドシステムズ	
1303 エヌティーアイジャパン(株)	2100 マス工房	
1501 (株)エムアイセブンジャパン	2118 松田通商(株)	
1510 LD Systems	1402 丸文(株)	
1417 (株)エレクトリ	1202 ミックスウェーブ(株)	
1311 (株)オーディオテクニカ	2109 (株)ミュージカル	
1310 (株)オーディオブレインズ	1301 Meyer Sound/リニアサウンドジャパン	
1413 (株)オーディオブレインズ	1508 (株)メディア・インテグレーション	
2112 Audinate Pty Ltd	1513 (株)メディア・インテグレーション	
1201 音響特機(株)	1610 (株)メディア・インテグレーション	
2107 Catch Me(株)	1514 (株)モアソンジャパン	
1312 (株)クレセント	1410 モガミ電線(株)	
1506 コーンズテクノロジー(株)	1307 ヤマキ電気(株)	
1607 コモドマッティーナ(株)/TAIDEN	1209 ヤマハサウンドシステム(株)	
2116 コンチネンタルファーマーイスト(株)	1209 (株)ヤマハミュージックジャパン	
2105 サカイ商事(株)	2113 (株)ユー・エス・イー	
2111 (株)サザン音響	1515 リワイアー(株)	
1611 三研マイクロホン(株)	1304 ルミネックスジャパン(株)	
1308 (株)サンフォニックス	X-Headphone	
1601 (株)CRI・ミドルウェア	1107 (株)アユート	
2102 GNオーディオジャパン(株)	1102 (株)エムアイセブンジャパン	
1401 (株)ジエネレックジャパン	1104 ゼンハイザージャパン(株)	
1203 Shenzhen Jiayz Photo Industrial, Ltd	1106 ソニーマーケティング(株)	
1309 (株)静科	X-Microphone	
1613 シュア・ジャパン(株)	1102 (株)エムアイセブンジャパン	
1505 (株)シンタックスジャパン	1101 (株)オーディオブレインズ	
1407 (株)ズーム	1104 ゼンハイザージャパン(株)	
2103 (株)スタジオイクイブメント	1105 ソニーマーケティング(株)	
1504 (株)須山歯研	映像制作/放送関連機材部門	
1206 ゼンハイザージャパン(株)	4204 アーカイブティップス(株)	
1205 ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン(株)	3111 アークベンチャーズ(株)	
2121 タスカム/ティアック(株)	2501 RFデザイン(株)	
2106 タツタ電線(株)	2506 (株)アイ・オー・データ機器	
1306 (株)谷沢製作所	2514 (株)アイ・ディー・エクス	
1207 (株)タムラ製作所	2512 ITGマーケティング(株)	
1602 つながるBOX by USEDNET	2401 (株)アイ・ディー・ケイ	
1315 ディーアンドビー・オーディオテクニク・ジャパン(株)	5401 IFOOTAGE	
2110 ディーエスピージャパン(株)	5210 Accsoon Technology	
1002 TOA(株)	4612 アクチュアル(株)	
1305 (株)TBSラジオ	4410 (株)アサカ	
1006 (有)デジコム	2513 麻布リース(株)	
1405 (株)デジタル・ラボラトリー	5410 アストロデザイン(株)	
1406 日本エレクトロ・ハーモニクス(株)	4305 (株)アセント	
1417 日本音響エンジニアリング(株)	3104 アテイン(株)	
1417 日本環境アメニティ(株)	3108 (株)アトラクター	
1314 日本テックトラスト(株)	4611 アパー・インフォメーション(株)	
	5409 アビッドテクノロジー(株)	

6113 (株)アブコット	6301 クロスイメージング(株)
4615 アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社	5501 (株)K-WILL
2307 アラジン	2610 KFX Technology
2401 (株)アルバニクス	3109 公益社団法人劇場演出空間技術協会
3203 (株)アルモア	2209 (株)ケンコー・トキナー
4208 池上通信機(株)	2307 (株)ケンコープロフェッショナルイメージング
6213 (株)石川トランク製作所	2204 (株)コイケ
2610 (株)イデオモーターロボティクス	3108 (株)構造計画研究所
4308 伊藤忠ケーブルシステム(株)	3207 Godox
4203 伊藤忠テクノソリューションズ(株)	3107 国際照明(株)
6220 イメージニクス(株)	2404 (株)コスミックエンジニアリング
5513 (株)イメージネット	6212 (株)コトブキソリューション
4206 (株)インターネットイニシアティブ	6105 KOBIA 2024 (KOREA E & EX)
4515 (株)インタニヤ	2606 (株)コムワークス
6211 (株)インテリジェント ウェイブ	3405 サーヴァンツインターナショナル(株)
3206 インフィレッド・ジャパン(株)	2504 (株)サードウェーブ
3301 ヴィデンダムプロダクションソリューションズ(株)	2203 (株)サイトロンジャパン
6201 ヴィデンダムメディアソリューションズ(株)	5206 さくら映機(株)
5509 (株)ヴィレッジアイランド	2510 (株)サムウエイ
6210 ウェスタンデジタル合同会社	2512 Samsung SSD
5111 Well Buying Industrial Co., Ltd.	6306 サロンフィルムズ・ジャパン(株)
5507 (株)内田洋行	2403 三信電気(株)
3209 AJA/Vizrt/アスク・エムイー AV over IP/MIM	6214 (株)三和映材社/(株)三和プロライト
4512 EIZO(株)	4412 (株)G-CaL
5407 営電(株)	4203 CTCエスピー(株)
5304 ATENジャパン(株)	4203 CTCシステムマネジメント(株)
3106 エイム電子(株)	4203 CTCファーストコンタクト(株)
6217 (株)イーエスシー	2511 SEETEC
6312 エーティ コミュニケーションズ(株)	3201 GB Labs
5119 (株)エーディテクノ	2508 JEITA テープストレージ専門委員会
3201 SI Media	5211 Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd.
3404 SET(ブラジルテレビ技術協会)	2516 (株)シグマ
5113 S-CONN ENTERPRISE CO., LTD.	4202 シスコシステムズ合同会社
3103 SDJ(株)	2507 (株)シナジー
3113 NEC	2402 ジャパンマテリアル(株)
2006 エヌ・イー・ピー(株)	6311 (株)昭特製作所
6405 (株)NHKエンタープライズ	5608 SHOTOVER Systems
6404 (株)NHKテクノロジー	6205 (株)Synk
6406 NHK/JEITA	3110 新東京物産(株)
6117 NAB SHOW	2309 SWIT ELECTRONICS CO., LTD
2610 (株)NKL	2306 (株)スガイエンタープライズ
5303 NTTイノベーションデバイス(株)	6108 (株)スクリュー
5301 エヌ・ティ・ティ・スマートコネク(株)	2004 studio.Ricordi
5302 NTTテクノロジー(株)	6202 スタック電子(株)
5301 NTTビジネスソリューションズ(株)	3402 (株)スバイス
2001 (株)M&Inext	6307 SmallRig
2302 エル・エス・アイ ジャパン(株)	2304 (株)スリー・エム
3101 エルザ ジャパン	2209 スリック(株)
6206 (株)おいぬビジョン	5403 (株)精工技研
6218 OWC Asia Inc	2206 セイコーソリューションズ(株)
5502 (株)オーディオストック	6101 摂津金属工業(株)
2210 オタリテック(株)	3102 Semtech Corporation
2002 (株)オプトハブ	3302 (株)Cerevo
5601 (株)加藤電気工業所	6116 ソニーマーケティング(株)
2515 カナレ電気(株)	6104 ソニーワイヤレスコミュニケーションズ(株)
4513 カベラシステムズ	6204 ダイナコムウェア(株)
5504 川崎重工業(株)	5114 Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association
3502 関西放送機器展	5212 タックシステム(株)
5602 (株)ガンズイ	2605 ダブル技研(株)
5405 (株)カンパス	2607 (株)TSUTA-WORLD
2308 キヤノン(株)/キヤノンマーケティングジャパン(株)	4306 TVU networks
5514 銀一(株)	6102 (株)DTS-インサイト
4511 グラスバレー(株)	2608 (株)DVC
2610 Grip Factory Munich GmbH	2502 (株)データブロード
3002 (有)グルーヴ	5606 (株)テクニカルファーム
2204 Kramer Electronics	3302 (株)テクノハウス

6403 デジキャス合同会社	6107 Bolin Technology	
2205 TESmart	2503 (株)マウスコンピューター	
4101 デル・テクノロジーズ(株)	5404 (株)マウビック	
5511 テレストリームジャパン合同会社	5205 Macnica Americas, Inc.	
2603 テレダイン・レクロイ	5208 Macro Image Technology, Inc.	
6112 (株)テレビ朝日	2307 マッシューズ スタジオ エキップメント	
6112 (株)テレビ朝日クリエイト	5401 マルミ光機(株)	
5604 (株)デンシトロン	2307 ミソニクス	
3403 一般社団法人電波産業会	3204 三井物産エアロスペース(株)	
6207 (株)電波新聞社	6402 三友(株)	
6115 (株)Too	6209 緑屋電気(株)	
3202 東京エレクトロン デバイス(株)	2202 ミハル通信(株)	
4207 東芝インフラシステムズ(株)	2002 ミマキ電子部品(株)	
4207 東芝デジタルソリューションズ(株)	6203 武蔵(株)	
4207 東芝ライテック(株)	6203 武蔵エスアイ(株)	
6103 (株)東通インターナショナル	3205 (株)メイコー	
6305 DZOFILM	2505 合同会社メタデータ	
2005 トモカ電気(株)	2609 (株)メディアプラス	
3003 (株)トラフィック・シム	6302 (株)メディアリンクス	
3208 (株)ナックイメーজテクノロジー/(株)アスク	5112 YUAN HIGH-TECH DEVELOPMENT CO., LTD.	
2602 Nash Music Library	4614 (株)ユニテックス	
3112 NANLITE/NANLUX (VANLINKS(株))	3501 (株)よしみカメラ	
5305 (株)ニコン	5406 LiveU Japan(株)	
6208 ニックヤビ(株)/(有)ブランネット	2305 (株)ラグナヒルズ/DATATON AB	
3503 日鉄溶接工業(株)	6308 ラリタン・ジャパン(株)	
2509 日本シーゲイト	2207 LIANTRONICS CO., LTD.	
6309 日本通信機(株)	6304 リーダー電子(株)	
6106 日本テレビ放送網(株)	6001 Riedel Communications GmBH & Co.KG	
5506 (株)日本ビデオシステム	6219 (株)RIP-TIE	
2601 日本無線(株)	5001 (株)RAID	
4613 (株)ニューエックス	2208 (株)レオフォトジャパン	
5209 Nextorage(株)	5212 (株)レスターコミュニケーションズ	
6109 ネットアップ合同会社	5508 RECシステム(株)	
2303 ネットギアジャパン合同会社	5503 ローランド(株)	
6303 Verbatim Japan(株)	エンターテインメント/ライティング部門	
4514 Harmonic Japan合同会社	3421 奥拓電子日本(株)	
6216 (株)バイオス	3507 アガイ商事(株)	
5505 ハイテクインター(株)	3412 ACME・JAPAN(株)	
2610 Backstage Equipment, Inc.	3420 Aputure Imaging Industries Co., Ltd.	
4309 バナソニック コネクト(株)	3408 イメージビジョン(株)	
6212 濱田プレス工業(株)	3406 ウシオライティング(株)	
6114 ValueHD Corporation	3419 GUANGZHOU ZHIYING TECHNOLOGY CO., LTD.	
5411 バルコ(株)	3508 Kelvin	
5212 (株)PALTEK	3422 江東電気(株)	
6214 PANTHER GmbH	3413 一般財団法人最先端表現技術利用推進協会	
5510 バンドウイットコーポレーション日本支社	3504 (株)SAEDA	
5118 (株)ピーテック	3416 Shenzhen Magnimage Technology Co., Ltd	
2406 (株)日立国際電気	3407 STAGE ONE INTERNATIONAL CO., LTD.	
2405 ビデオトロン(株)	3418 Chainzone Technology (Foshan) Co., Ltd.	
3302 ヒビノ(株)	3506 (株)テイク	
4516 (株)フォトロン	3420 Deity Microphones	
2517 富士フイルム(株)	3410 (株)東京舞台照明	
5512 (株)府中技研	3422 (有)特殊映材社	
5116 (株)芙蓉ビデオエイジェンシー	3505 Hyundai Fomex Co., Ltd.	
6310 ブラックボックス・ネットワークサービス(株)	3411 ProFound by JLLite Inc.	
6407 ブラックマジックデザイン(株)	3409 Hobolite	
5408 (株)フラッシュバックジャパン	3414 (株)レッドクリフ	
5207 プリミックス(株)	3417 ロトライト	
4307 (株)PLAY	INTER BEE IGNITION x DCEXPO	
2301 ブロードデザイン(株)	3326 アジアグラフ 2023 CG アートギャラリー	
2611 (株)プロ機材ドットコム	3329 ViXion(株)	
5605 (株)プロスパー電子	3328 (株)グラブス	
5306 平和精機工業(株)/Libec	3325 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科	
5412 (株)朋栄	Embodied Media Project	
2007 (株)放送技研	3330 (株)Qconcept	
3105 Portkeys		

3349 SIGGRAPH Asia 2023	4606 (株)TBSグローメディア	
3331 テクノスピーチ	4402 (株)ティーパーイェスネクスト	
3326 一般財団法人デジタルコンテンツ協会	4602 (株)テレビ朝日サービス	
3327 Pilot(株)	4606 (株)テレビ東京システム	
3332 MITSUME	4301 とくしま4Kフォーラム実行委員会	
3324 Meta リアリティ・ラボ・リサーチ (from SIGGRAPH 2023)	4405 (株)トップ・クリエイション	
Innovative Technologies		
3348 青山学院大学伊藤研究室/オムロンサイニクエクス(株)	4304 (株)TOMODY	
3345 芝浦工業大学/東京大学/バイバイワールド(株)	5204 Dolby Japan(株)	
3344 ソニー(株)	4407 (株)なゆたネット	
3342 東海大学 情報理工学部 情報メディア学科 小坂研究室	4606 (株)日テレWands	
3343 東京大学 稲見・門内研究室	4401 日本クアンタムストレージ(株)	
3346 東京大学/(株)スプラインデザインハブ	4604 日本デジタル・プロセッシング・システムズ(株)	
3347 Ferment Media Research/早稲田大学	5103 特定非営利法人日本ビデオコミュニケーション協会	
TechBiz		
3337 artics	4404 ネットワークエレクトロニクスジャパン(株)	
3338 TRIBAWL(株)	4603 (株)光バスコミュニケーションズ	
3339 (株)Nefront	5106 ビクセルハウス	
3335 (株)palan	4501 (株)ファイバーネットワーク	
3341 bestat(株)	4408 Fastly(株)	
3340 (株)foriio	3335 (株)フジミック	
3336 (株)Portalgraph	4301 (株)ブラットイズ	
3334 (株)One by One Music	4301 (株)ブラットワークス	
スタートアップエリア		
3304 (株)iDEAKITT	4302 ベイテックロジーズ(株)	
3321 (株)イコヒー	4605 Magewell	
3317 WELL-BEING TECHNOLOGY	4001 MEDIAEDGE(株)	
3311 (株)カシカ	4406 (株)メディアキャスト	
3322 カルクル(株)	4602 Mediaproxy	
3310 (株)Qconcept	5101 メモリーテック(株)	
3313 Sound KOUBE	4403 (株)モスウェル	
3314 瞬景	4409 YoloLiv Technology	
3319 (株)Stroly	4506 (株)理経	
3315 Sparkup/Meet&Connect(株)	INTER BEE BORDERLESS	
3309 Spacial	4106 一般社団法人IPTVフォーラム	
3312 代官山メタバーススタジオ	4109 (株)エフエム東京	
3305 ダブルネスト	4110 (株)オルカプロダクション	
3320 (株)テイラーイノベーションズ	4102 (株)Jストリーム	
3318 TOTEMO	4109 スカパー JSAT(株)	
3308 (株)PBADAO	4104 (株)ストランダー	
3323 ビーブルデザイン研究所	4107 New Relic(株)	
3306 ファシリティジャパン(株)	4108 マルチスクリーン型放送研究会	
3307 (株)playknot	INTER BEE CREATIVE	
3333 (株)Bocek	5012 (株)IMAGICA Lab.	
3316 (株)polygros	5009 (株)クープ	
メディア・ソリューション部門		
4509 (株)IVS41	5011 (株)サウンド・シティ	
5104 (株)イノコス	5013 一般社団法人日本ポストプロダクション協会	
4303 イノテック(株)	5014 メタバース プロダクション	
4507 intoPIX sa	5010 レスバビジョン(株)	
4508 インフィニティブロ	動画マーケティングラウンジ	
4508 インフィニティブロアジア(シンガポール)	5003 (株)火燧	
4407 (株)ウェブストリーム	5004 (株)サムシングファン	
5203 (株)エクスポローラ	5006 (株)スペースシャワーネットワーク(株)SEP	
4606 (株)NHKテクノロジー	5005 (株)MEATUS	
4401 (株)エヌジーシー	5007 (株)WAS	
4508 Evolve International(株)	IABM Pavilion	
4502 (株)コルゲ	4601 IABM	
4510 (株)サムスン日本研究所	4601 Doteck	
5102 (株)システム計画研究所	4601 Encompass Digital Media	
5105 ジャパン・トゥエンティワン(株)	4601 ETERE	
5108 (株)Studio tech	4601 Hewlett Packard Enterprise	
オンライン限定出展		
5201 タタコミュニケーションズジャパン(株)	4601 インテル(株)	
5202 (株)中京エレクトロン	4601 MASV	
5202 中京テレビ放送(株)	4601 Synamedia Vividtec	
	4601 ViaLite Communications	
	グループ・クラウド・ジャパン合同会社	

INTER BEE FORUM

4年ぶりにリアル会場でのオープニング&キーノートを開催

■Opening & Keynote

開催初日の11月15日(水)午前10時より幕張メッセ国際会議場において、Opening & Keynote が開催された。

開幕を飾るOpening & Keynote では、一般社団法人電子情報技術産業協会の小島啓二会長による主催者挨拶に続き、総務省情報流通行政局長の小笠原陽一氏による「放送政策の最新動向」、日本放送協会理事・技師長の寺田健二氏による「新時代へのチャレンジ」に向けたNHKの取り組みの講演が行われた。

4年ぶりのリアルでの開催に、多くの来場者が熱心に聴講した。



総務省 情報流通行政局長 小笠原 陽一 氏



日本放送協会 理事・技師長 寺田 健二 氏

「多様なユーザーのニーズに応える幅広いコンテンツを揃えた Inter BEE」

本イベントの開催にあたっては、ご後援を頂いております関連省庁や各種団体をはじめ、関係機関の多くの方々にご協力をいただきました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

Inter BEE は 1965 年に開かれた国際放送機器展を前身としており、音と映像、そして通信という放送技術の展示会として歴史を積み重ねてきました。また、近年では、メディア産業の新たなユーザーエクスペリエンスを提示する展示会として、ユーザー体験を網羅したメディアの総合イベントへと進化しております。

ご承知のように、デジタル技術が急速に普及し、パンデミックへ対応する中で、デジタル化が世界中で加速しました。生成 AI をはじめとする先端技術によって、社会と経済のデジタル変革は今後も大きく進展していきます。私たちは、経済発展と社会的課題の解決を両立する「Society 5.0」の実現に向けて、様々な産業と連携を進めております。

59 回目となる本年、Inter BEE は、放送と通信の融合、動画マーケティング、そしてスタートアップの先端技術も加わり、多様なユーザーのニーズに応える幅広いコンテンツを揃えることができました。ご来場の皆様におかれましては、この Inter BEE を存分に活用いただき、今後のビジネスに大いに生かしていただきたいと思います。

最後になりますが、本イベントがすべての出展者と来場者の皆様にとって、より良いビジネス機会を創出する場となることを願っております。そしてメディアコンテンツに関わる産業、文化、そして社会がさらに発展することを願いまして、私の挨拶とさせていただきます。



一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) 会長 小島 啓二 氏

11月15日(水)

KN-151 基調講演 国際会議室

Inter BEE 2023 Opening & Keynote

主催者あいさつ

一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) 会長
株式会社日立製作所 代表執行役 執行役員 兼 CEO
小島 啓二 氏

総務省 情報流通行政局長
小笠原 陽一 氏

オープニング
基調講演1
放送政策の最新動向

オープニング
基調講演2
「新時代へのチャレンジ」に向けたNHKの取り組み

日本放送協会
理事・技師長
寺田 健二 氏



KN-152 INTER BEE IP PAVILION 基調講演 国際会議室

IPリモートプロダクションを成功させる 回線デザインを考える

提案者:

<p>東日本電信電話株式会社 ビジネス開発本部 クラウド&ネットワークビジネス部 天坂 光男 氏</p> <p>NTTコミュニケーションズ株式会社 プラットフォームサービス本部 クラウド&ネットワークサービス部 第二サービス部門 河口 誠 氏</p> <p>Live!J Japan 株式会社 シニアディレクター ビジネスデベロップメント 勝田 光春 氏</p> <p>株式会社静岡第一テレビ 技術プロデュース部 システムマネージャー 中濱 央友 氏</p>	<p>NTTビジネスソリューションズ株式会社 パブリックデザイン部 担当課長 児玉 歩 氏</p> <p>KDDI株式会社 DX推進本部 DXサービス戦略部 メディアグループ グループリーダー 大川 祥一 氏</p> <p>ソニーマーケティング株式会社 B2Bプロダクツ&ソリューション本部 B2Bビジネス部 小貝 肇 氏</p> <p>日本放送協会 鳥取放送局 鳥取放送局 コンテンツセンター 番組技術 高田 純 氏</p> <p>月刊ニューメディア編集部 ゼネラルエディター 吉井 勇 氏</p>
---	---

質問者:

<p>株式会社静岡第一テレビ 技術プロデュース部 システムマネージャー 中濱 央友 氏</p>	<p>日本放送協会 鳥取放送局 鳥取放送局 コンテンツセンター 番組技術 高田 純 氏</p>
--	--

進行:

月刊ニューメディア編集部
ゼネラルエディター
吉井 勇 氏

SP-152 特別講演 201会議室

アドバンスド・イメージング・ユニバーシティ 2023 ～バーチャルプロダクションとポリュメトリックキャブチャの最前線

<p>先進映像協会 プレジデント ジム チャピン 氏 ※ビデオ講演</p> <p>放送サービス高度化推進協会 広報・企画部 統括部長 南里 憲孝 氏</p>	<p>先進映像協会 日本部会長 河合 隆史 氏</p> <p>ソニーPCL株式会社 新規ソリューション開発戦略室 室長 小林 大輔 氏</p>
--	---

KN-153 音響部門基調講演 国際会議室

新しい音創りへのチャレンジ! 2023 ～ディレクターが望む音、エンジニアが創りたい音、 リスナーが聴きたい音とは～

パネリスト:

<p>テレビ朝日映像株式会社 ビジネス総局デジタルリユージョン部 チーフクリエイター/プロデューサー/演出 井上 哲 氏</p> <p>株式会社ヒューマックスシネマ HAC事業部 リコーディングミキサー マネージャー 嶋田 美穂 氏</p>	<p>有限会社デジタルサーカス サウンドデザイナー/ リコーディングミキサー 高木 創 氏</p> <p>株式会社東京サウンド・プロダクション オーディオセンターリーダー 高橋 健人 氏</p>
--	---

モデレーター:

株式会社テレビ朝日
技術局 設備センター
阿部 健彦 氏

SP-154 特別講演 201会議室

視聴=聴取データから見える「放送とネット」のユーザー動線

パネリスト:

<p>株式会社電通 電通メディアイノベーション統括責任者 電通総研フェロー 奥 律哉 氏</p>	<p>株式会社radiko 取締役 業務管理室長 データマネジメントチームリーダー 岡田 真平 氏</p>
---	--

進行:

株式会社AbemaTV
ビジネスデベロップメント本部 プロダクト部門 統括
大久保 晶平 氏

株式会社インテージ
事業開発本部 XDU プロモーション総括
深田 航志 氏

11月16日(木)

KN-161 基調講演 国際会議室

IPTVフォーラム企画: フェイクとの戦い、メディア業界の取り組み ～オリジネーター・プロファイルとCAI/C2PA～

開会挨拶

一般社団法人IPTVフォーラム代表理事
東京大学大学院情報理工学系研究科 教授
江崎 浩 氏

基調講演

総務省情報流通行政局
情報通信作品振興課長
飯村 由香理 氏

パネルディスカッション:
**フェイクとの戦い、メディア業界の取り組み!
～オリジネーター・プロファイルとCAI/C2PA～**

パネリスト:

<p>総務省情報流通行政局 情報通信作品振興課長 飯村 由香理 氏</p> <p>日本放送協会 放送技術研究所 ネットサービス基盤研究部 チーフ・リード 大竹 剛 氏</p>	<p>株式会社 企 代表取締役 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任准教授 クロサカタツヤ 氏</p> <p>アドビ株式会社 Chief Digital Officer (最高デジタル責任者) 西山 正一 氏</p>
---	---

モデレーター:

京都先端科学大学 国際学術研究院 教授
山本 名美 氏

SP-161 特別講演 201会議室

解説対談：欧州のメディア展望議論の行方

パネリスト:

<p>MediaTech ELSI R&D 代表 園田 公一 氏</p>	<p>BBC 放送通訳 清水 健 氏</p>
---	-----------------------------------

進行:

月刊ニューメディア 編集部
ゼネラルエディター
吉井 勇 氏

KN-162 INTER BEE BORDERLESS 基調講演 国際会議室

ローカル局長が語る地域メディアの“未来ビジョン”

パネリスト:

<p>株式会社東日本放送 代表取締役社長 藤ノ木 正哉 氏</p> <p>山陰中央テレビジョン放送株式会社 代表取締役社長 田部 長右衛門 氏</p>	<p>株式会社CBCテレビ 代表取締役社長 松波 啓三 氏</p> <p>南海放送株式会社 代表取締役社長 大西 康司 氏</p>
---	---

モデレーター:

日本放送協会
放送文化研究所 メディア研究部 研究主幹
村上 圭子 氏

SP-162 特別講演 201会議室

放送番組・CM制作におけるCO2削減の取り組みと今後の方向

パネリスト:

<p>イマジコンサルティング コンサルタント・アナリスト 今和泉 仁 氏</p> <p>日本放送協会 総務局 環境経営事務局・ エクスパート 林 恵里佳 氏</p>	<p>株式会社電通 パブリックプロジェクト推進室/ シニア・プロデューサー 荒木 丈志 氏</p> <p>株式会社TBSホールディングス サステナビリティ創造センター・センター長 井上 波 氏</p>
--	--

進行:

株式会社フジテレビジョン
社会貢献推進局 局長 兼 報道局 解説委員
木幡 美子 氏

SP-163 特別講演 201会議室

AI・機械学習が創り出す新しい音と音楽

パネリスト:

海外製品におけるAIや機械学習の動向

株式会社メディアインテグレーション ROCK ON PRO
プロダクトスペシャリスト
前田 洋介 氏

機械学習を使った新しい音楽生成、Deep Learningを用いたドラム音生成と音楽解析技術の紹介

株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所
テクノロジープロモーション&デプロイメントグループプロジェクト エンジニア
岸 治彦 氏

**楽曲制作や楽器演奏をサポートする
編曲・楽譜AIの研究事例**

ヤマハ株式会社
研究開発統括部 主事 (リサーチャー)
鈴木 正博 氏

モデレーター:

株式会社テレビ朝日
技術局 設備センター
阿部 健彦 氏

SP-164 特別講演 201会議室

地上デジタルテレビジョン放送の高度化における 音声符号化方式について

『MPEG-H 3D AUDIO』について

フラウンホーファー IIS 日本代表
ナワビ ファヒム 氏

『AC-4』について

Dolby Japan 株式会社
ライセンス&エコシステム
シニア・マネージャー
勅使川原 智 氏

KN-164 INTER BEE CREATIVE 映画上映会 国際会議室

【映画上映会】 キャロル・オブ・ザ・バル 家族の絆を奏でる詩(うた)

あいさつ:

映画監督/ウクライナ公共放送 映像ディレクター
オレシア・モルグレット=イサイエンコ 氏

INTER BEE FORUM

11月17日(金)

KN-171 INTER BEE IGNITION×DCEXPO 基調講演 国際会議室

HMDの進化が駆動するVRの未来 日英逐次通訳付き

パネリスト:

Meta リアリティ・ラボ・リサーチ Yang Zhao 氏

東京大学 教授 総長特任補佐 先端科学技術研究センター 副所長 稲見 昌彦 氏

進行:

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報科学領域 教授 清川 清 氏

SP-171 特別講演 201会議室

ラジオ放送の近未来を語り尽くす～課題と展開

株式会社STVラジオ 代表取締役社長 橋本 秀樹 氏

大正大学表現学部 教授 川喜田 尚 氏

上智大学 新聞学科 教授 音 好宏 氏

KN-172 エンターテインメント部門 基調講演 国際会議室

エンターテインメント産業とデジタル通信の融合における最新動向

金沢工業大学虎ノ門大学院 教授 DAZN Japan チェアマン 株式会社InterFM897 取締役/ブロードメディア株式会社 監査役 北谷 賢司 氏

びあ総合研究所株式会社 取締役所長 笹井 裕子 氏

SP-172 特別講演 201会議室

JEITA AVC部会企画：大学生のコンテンツ視聴スタイルの変化とメーカーの進むべき方向性について

立教大学 社会学部 学部長/メディア社会学科 教授 砂川 浩慶 氏

聖心女子大学 現代教養学部 人間関係学科 教授 小城 英子 氏

KN-173 INTER BEE CREATIVE 基調講演 国際会議室

「映像の力は社会に何を問いかけるか?そしてその可能性とは?」～映画「キャロル・オブ・ザ・ペル 家族の絆を奏でる詩(うた)」を制作して 日英逐次通訳付き

映画監督/ウクライナ公共放送 映像ディレクター オレシア・モルグレット=イサイエンコ 氏

映像ディレクター・著作家 貴志 謙介 氏

INTER BEE CREATIVE ディレクター 結城 崇史 氏

SP-173 特別講演 201会議室

特別鼎談：AIとフェイクと放送 特別協力:デジタル政策フォーラム

一般財団法人 デジタル政策財団 理事 菊池 尚人 氏

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 特任助教 花光 宣尚 氏

上智大学 文学部 新聞学科 教授 渡邊 久哲 氏

出展者セミナー

▶会場:国際会議場1階[103][104]

ES1-153 14:00▶15:30 Live配信オンラインスイッチングサービス「WRIDGE LIVE」ローンチ発表会～Live配信現場にプロいらず!低コストかつ時間・人員の削減が実現～ 株式会社TOMODY CEO 富森 健史 氏

ES2-153 14:00▶15:30 Haivision 5G& SRT の最新技術及び対応製品の紹介と SRT ユーザー事例 11月15日(水)

Haivision Systems Inc. Haivision 社最高戦略責任者 (CSO) Peter Maag 氏

朝日放送テレビ株式会社 朝日放送テレビ 技術局 制作技術部長 兼 技術戦略部 課長 寺田 果生 氏

ES1-154 16:00▶17:30 次世代ラジオマスター実証実験の報告(マスターのソフト化、統合化、クラウド化) スカパーJST株式会社 メディア技術本部アップストリーム部ソリューション第3チーム長 前中 隆 氏

株式会社エフエム東京 取締役 管理本部 技術局長 川島 修 氏

ES1-162 12:00▶13:30 AWS for Media & Entertainment ～AWSクラウドで実現する放送・配信ワークフロー～ アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 執行役員 通信・メディア・戦略事業統括本部 統括本部長 恒松 幹彦 氏

ES1-163 14:00▶15:30 クラウド、仮想化インフラを活用した新時代のライブ・リモート・プロダクション RIEDEL Communications GmbH & Co. KG Director Live Production, Global Luc Doneux 氏

ES1-171 10:30▶11:30 TBS IDの構築によるサービス統合とグループ全体のシナジー：VISION2030に向けた内製化への挑戦 TBS HD 総合マーケティングラボ ビジネス戦略部/グループID事務局 藤居 翔吾 氏

New Relic株式会社 技術統括 コンサルティング部 ソリューションコンサルタント 古垣 智裕 氏

ES1-173 14:15▶15:15 オタリテックと東京エレクトロニクスが提案する放送IPネットワーク 東京エレクトロニクス株式会社 CN技術本部 プロダクト 第三技術部 第一グループ 松岡 諒 氏

アリスタネットワークス ジャパン合同会社 技術本部 副技術部長 宗像 裕一郎 氏

オタリテック株式会社 IPシステムソリューション部 IPソリューション&プリセールスエンジニア 折笠 基城 氏

ES0-171 10:00▶11:00 Google Cloud と 生成 AI が切り拓くメディアの新時代 - ビジネス編

Google Cloud ジャパン合同会社 アカウント エグゼクティブ 山木 翔平 氏

日本テレビ放送網株式会社 DX 推進局 データ戦略部 専門副部長 川越 五郎 氏

日本テレビ放送網株式会社 DX 推進局 データ戦略部 副主任 辻 理奈 氏

ES0-172 11:30▶12:00 Google Cloud と 生成 AI が切り拓くメディアの新時代 - 技術編

Google Cloud ジャパン合同会社 カスタマー エンジニア 段野 祐一郎 氏

ES0-172 11:30▶12:00 Google Cloud と 生成 AI が切り拓くメディアの新時代 - 技術編

Google Cloud ジャパン合同会社 カスタマー エンジニア 段野 祐一郎 氏

同時開催 第60回民法技術報告会

JBA-151 10:30▶16:20 制作技術部門

次世代のドラマスタジオデザイン 湾岸D2,D3スタジオ更新 フジテレビジョン 杉本 雄亮 氏

南極中継と取材撮影の実例 フジテレビジョン 芹澤 将也 氏

『東京マラソン2023』における5G SAによるSLA保証型ネットワークスライシング技術の番組制作活用 フジテレビジョン 飯田 智之 氏

報道支援システム「JNNニュースクラウド」開発 TBSテレビ 福田 優一 氏

リモートディレクションの実証実験報告 熊本県民テレビ 内田 隼人 氏

インターネットとソフトウェアによるリモートプロダクション事例紹介 TBSテレビ 勝俣 祐輝 氏

自動スイッチングシステムの開発と運用 テレビ朝日 森山 顕矩 氏

名古屋テレビ放送 ハリ更新 名古屋テレビ放送 方便 剛 氏

「オモウマイ店」自動ワイプ編集 アプリ開発 中京テレビ放送 岩崎 浩 氏

メディア運用管理システム「Medi-I」及び「iMedi-I」の開発 中京テレビ放送 石井 瞭 氏

ウェブブラウザでどこでも映像にアクセス 報道編集・アーカイブ更新 宮城テレビ放送 目黒 洋一 氏

JBA-152 10:30▶14:40 配信部門

配信CMバンク～Tango～の構築 フジテレビジョン 山川 倫生 氏

クイズシステム「マナブくん」による業務効率化 TBSテレビ 安原 直哉 氏

リアルタイム配信 自動監視による業務効率化 日本テレビ放送網 弘田 真之 氏

NNNプラットフォームプロジェクト 日本テレビ放送網 小川 隆史 氏

LL-HLS方式による超低遅延配信について 日本テレビ放送網 中井 厚詞 氏

生放送番組の放送直後配信の実現に向けた取り組み フジテレビジョン 米岡 充裕 氏

通話配信SDKを使った番組・イベント向けWEBツール「MRET(エムレット)」の開発 中京テレビ放送 前田 英人 氏

CTV上の諸技術に関する研究と考察 フジテレビジョン 伊藤 正史 氏

JBA-153 10:55▶13:50 CG・コンピュータビジョン部門

AIによるミスゼロ支援 TBSテレビ 中本 聖也 氏

ハイブリッドテロップ「mashup」の開発と運用 テレビ朝日 高梨 賢一 氏

インカメラVFX技術のテレビドラマへの利用 日本テレビ放送網 狩野 博貴 氏

ポリュメトリックビデオ技術を用いたプロ野球中継 日本テレビ放送網 篠田 貴之 氏

ウェブブラウザで動作するスポーツコダと、その情報を用いた配信用Webページの構築 テレビ金沢 山本 大輝 氏

JBA-154 14:40▶15:55 送出部門

AIを活用したマスター設備ネットワーク監視システムの共同研究について 九州朝日放送 齋藤 利史 氏

字幕放送用NAB・ARIBデータ自動編集システム 関西テレビ放送 稲垣 隆志 氏

マスター運行のリモート支援システム(AToM)の開発 札幌テレビ放送 大竹 知幸 氏

JBA-161 13:30▶16:00 特別企画

テレビにおける「バーチャルプロダクション」の進化と未来～最新CG技術はテレビに何をもたらすか～

コーディネータ テレビ朝日 技術局コーポレートデザインセンター センター長 島田 一 氏

TBSアクト デザイン本部CGセンター未来技術推進部 副部長 青木 貴則 氏

日本テレビ放送網 技術統括局デジタルコンテンツ制作部 主任 篠田 貴之 氏

テレビ朝日 技術局コーポレートデザインセンター 新領域・先端デザイン担当部長 横井 勝 氏

フジテレビジョン 技術局制作技術統括部 部長 真崎 晋哉 氏

テレビ東京ホールディングス テック戦略局テックラボテクニカルプロデューサー 近藤 剛史 氏

日本放送協会 メディア技術局コンテンツテクノロジーセンター エキスパート 井藤 良幸 氏

JBA-171 10:30▶16:20 制作技術部門

日本テレビ 生田1スタジオ映像設備更新 日本テレビ放送網 喜屋武 寛之 氏

番組制作フローを効率化するDXツール『Alligator』の開発 日本テレビ放送網 小池 中 氏

制作ファイルベース収録機REXの開発 TBSテレビ 依田 純 氏

天王洲第2スタジオ照明設備大規模延命工事 テレビ東京 水野 暁夫 氏

読売テレビ B71対応 報道取材ヘリコプターの更新 読売テレビ放送 湯川 洋輔 氏

フロアローリングを伴う報道サブ更新 福島中央テレビ 渡邊 聖貞 氏

LEDスポットライト用キャップ「スポッキヤ」の開発 朝日放送テレビ 瀧本 貴士 氏

朝日放送テレビ ニュースサブ ST2110 IPシステム～映像編～ 朝日放送テレビ 小西 剛生 氏

朝日放送テレビ ニュースサブ ST2110 IPシステム～音声編～ 朝日放送テレビ 津高 仁志 氏

関西テレビ 音声車中継車の更新 関西テレビ放送 井田 憲吾 氏

AoIPを用いた音声リモートプロダクションへの取り組み テレビ東京 永久保 仁志 氏

JBA-172 10:30▶12:10 回線・伝送部門

TBSテレビ 基幹ネットワーク更新 TBSテレビ 名倉 俊哉 氏

一般用PBX(内線電話交換機)更新 TBSテレビ 高森 啓史 氏

LDMを応用したFPU高度化 毎日放送 柴山 武英 氏

SP-IPコンバータの開発 南海放送 園田 啓太 氏

JBA-173 13:00▶14:40 データ放送・放送通信連携・アクセスビリティ部門

コンテンツ管理システム「ナナ番地。」による配信及びアーカイブ業務効率化 テレビ東京 豊永 悠太 氏

JNN系列データ放送のセンター設備化 TBSテレビ 八木 晴紀 氏

データ放送自動監視システムの開発 TBSテレビ 佐々木 恒輔 氏

ラジオ番組に連動した二次元アバター動画配信 TBSテレビ 佐竹 颯太 氏

JBA-174 10:30▶13:50 ラジオ・音声部門

3Dオーディオ収録用マイクアレイの開発 WOWOW 沼田 彰彦 氏

TOKYO FM スタジオマネージャーのクラウド化 エフエム東京 蛭間 涼 氏

音声車中継装置(音声回線マトリクス)の更新 TBSラジオ 宮澤 日出海 氏

SIPを利用した低価格な音声伝送装置 Rasipの開発 ラジオ沖縄 西原 正太郎 氏

朝日放送ラジオ マスター設備更新 朝日放送テレビ 長谷川 淳 氏

朝日放送ラジオ 中継設備更新 朝日放送テレビ 平岡 淳司 氏

JBA-175 14:15▶15:30 送信部門

FM干渉除去装置の開発 -マルチパス干渉除去と遅延プロファイル解析- 山口放送 恵良 勝治 氏

松江IDTV及び同局を上位とする中継局におけるSFN遅延監視と遅延調整の整備・開発について 日本海テレビジョン放送 安達 俊一 氏

IP方式によるTTL回線の構築・移行 日本テレビ放送網 富山 俊一郎 氏

同時開催 全映協フォーラム 2023 in 幕張

- ▶フォーラム：国際会議場1階「104」
- ▶大懇親会：国際会議場1階「101」
- ▶主催：一般社団法人全国地域映像団体協議会

14:30▶14:50	開会挨拶
14:50▶15:20	経済産業省プレゼンテーション
15:20▶15:30	休憩
15:30▶16:00	総務省プレゼンテーション
16:00▶16:10	休憩
16:10▶17:10	全映協グランプリ2023 結果発表・表彰式
17:30▶19:00	懇親会(会費6,000円)

INTER BEE EXPERIENCE

X-Speaker SRスピーカー体験デモ

▶会場：幕張メッセ イベントホール

ワールドクラスのSRスピーカー 試聴体験イベント。

昨年復活した国内最大のSRスピーカー試聴

体験イベントX-Speaker。国内外から多くの注目を集めるこのイベントに、今年も13製品が登場。一年に一度の世界クラスのスピーカー試聴体験空間を実現した。

デモスケジュール

11.15 (水)		11.16 (木)		11.17 (金)	
10:30	JBL ヒビノ株式会社	10:30	dBTechnologies ティアック株式会社	10:30	CLAIR リワイアー株式会社
11:10	BOSE ボーズ合同会社	11:10	ADAMSON リワイアー株式会社	11:10	M 株式会社オーディオブレインズ
11:50	NEXO 株式会社ヤマミュージックジャパン	11:50	JBL ヒビノ株式会社	11:50	ベステックオーディオ株式会社
12:30	RCF 音響特機株式会社	12:30	VUE audiotechnik 日本エレクトロ・ハーモニクス株式会社	12:30	d&b audiotechnik ティアック株式会社
14:00	CODA ヒビノインターサウンド株式会社	14:00	JBL ヒビノ株式会社	14:00	dBTechnologies ティアック株式会社
14:40	CLAIR リワイアー株式会社	14:40	BOSE ボーズ合同会社	14:40	ADAMSON リワイアー株式会社
15:20	M 株式会社オーディオブレインズ	15:20	NEXO 株式会社ヤマミュージックジャパン	15:20	JBL ヒビノ株式会社
16:00	ベステックオーディオ株式会社	16:00	RCF 音響特機株式会社	16:00	VUE audiotechnik 日本エレクトロ・ハーモニクス株式会社
16:40	d&b audiotechnik ティアック株式会社	16:40	CODA ヒビノインターサウンド株式会社		

機材協力：株式会社オーディオブレインズ / ティアック株式会社

X-Headphone ヘッドフォン試聴体験展示

▶会場：展示ホール1 (プロオーディオ部門内)

プロユースの高音質を自由に体験できる 人気展示が4年振りに復活！

プロフェッショナルユースのヘッドフォンとマイクロフォンの様々な特長が実感できる人気企画展示が4年振りに復活。周囲を気にせずに自由にプロユースの高音質を試聴体験できる場を展開した。

X-Headphone 製品ブランド/参加企業

1102	エムアイセブンジャパン株式会社	AUSTRIAN AUDIO
1104	ゼンハイザー・ジャパン株式会社	SENNHEISER NEUMANN.BERLIN
1106	ソニーマーケティング株式会社	SONY
1107	株式会社アキュート	apc ULTRASONIC

X-Microphone 製品ブランド/参加企業

1101	株式会社オーディオブレインズ	beyerdynamic
1102	エムアイセブンジャパン株式会社	AUSTRIAN AUDIO
1104	ゼンハイザー・ジャパン株式会社	SENNHEISER NEUMANN.BERLIN
1105	ソニーマーケティング株式会社	SONY

INTER BEE IP PAVILION

企業間の垣根を超えた世界最大級の連携で幕張メッセ、外部データセンター間でMedia over IPデモシステムを構築
2023年のIP PAVILIONでは、放送局の制作IPシステムを発展させ、初めて複数の放送局と外部のデータセンターとの連携デモを構築、加えて一部システムのハンスオンコーナーも展開した。

参加企業・団体

池上通信機(株) 伊藤忠ケーブルシステム(株) (株)インテリジェント ウェイブ エイチ・シー・ネットワーク(株) エム電子(株) NEC NTTインバーティブデバイス(株) エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株) Zabbix Japan LLC シスコシステムズ合同会社 ジャパンマテリアル(株) (株)精工技研 セイコーソリューションズ(株) ソニーマーケティング(株) (株)タムラ製作所 デンキキャブ合同会社 東京エレクトロ デバイス(株) 東芝インフラシステムズ(株) (株)東陽テクニカ パナソニック コネクスト(株) 原田産業(株) パンドウイットコーポレーション日本支社	ビデオロン(株) ヒビノ(株) 平河ヒューテック(株) 華為技術日本(株) (株)フォトロン (株)芙蓉ビデオエージェンシー (株)朋栄 ボッシュセキュリティシステムズ(株) 丸文(株) (株)メディアリンクス (株)ラムダシステムズ リーダー電子(株) ◆アドバイザー/企画・協力 (株)NHKテクノロジーズ 国立天文台 さくらインターネット(株) 日本放送協会(NHK) 日本テレビ放送網(株)(ARIB) (株)ニューメディア (株)フジテレビジョン(ARIB)
--	---

ブースマップ Booth Map



基調講演

11月15日(水)

KN-152 INTER BEE IP PAVILION 基調講演 国際会議室

IPリモートプロダクションを成功させる回線デザインを考える

提案者	東日本電信電話株式会社 ビジネス開発本部 クラウド&ネットワークビジネス部 天坂 光男 氏	NTTビジネスソリューションズ株式会社 バリューデザイン部 担当課長 児玉 歩氏
	NTTコミュニケーションズ株式会社 プラットフォームサービス本部 クラウド&ネットワークサービス部 第二サービス部門 河川 誠 氏	KDDI株式会社 DX推進本部 DXサービス戦略部 メディアグループ グループリーダー 大川 祥一 氏
	LiveU Japan 株式会社 シニアディレクター ビジネスデベロップメント 勝田 光春 氏	ソニーマーケティング株式会社 B2Bプロダクツ&ソリューション本部 B2Bビジネス部 小貝 肇 氏
質問者	株式会社静岡第一テレビ 技術プロデューサー システム室マネージャー 中濱 央友 氏	日本放送協会 鳥取放送局 鳥取放送局 コンテンツセンター 番組技術 高田 純 氏
進行		月刊ニューメディア編集部 ゼネラルエディター 吉井 勇 氏

リレー技術セミナー

▶会場：展示ホール2 特設会場

11月15日(水)

10:30 ▶ 10:50	ガイドツアー参加者事前説明会	
11:00 ▶ 11:20	【基本】IP PAVILION放送設備概要	ソニーマーケティング株式会社
11:30 ▶ 11:50	【基本】IP PAVILIONネットワーク設備概要	東京エレクトロ デバイス株式会社
12:00 ▶ 12:20	【基本】オーディオ設備概要とST2110-30	ヒビノ株式会社
12:30 ▶ 12:50	【基本】番組制作用IPインターフェース標準化に関するARIBの取り組み	ARIB
13:00 ▶ 13:20	ガイドツアー参加者事前説明会	
13:30 ▶ 13:50	【活用】IPを活用したリモートプロダクションでの高品質なローカル・アマチュアスポーツ中継事例	株式会社rtv
14:00 ▶ 14:20	【基本】PTPによる同期技術	セイコーソリューションズ株式会社
14:30 ▶ 14:50	【基本】IP PAVILIONにおける統合監視	Zabbix Japan LLC
15:00 ▶ 15:20	ガイドツアー参加者事前説明会	
15:30 ▶ 15:50	【提案】メディア業界でのデジタルツイン活用について	KDDI株式会社
16:00 ▶ 16:20	【活用】テレビ北海道「マスター IP」導入の考え	株式会社テレビ北海道

11月16日(木)

10:30 ▶ 10:50	ガイドツアー参加者事前説明会	
11:00 ▶ 11:20	【基本】IP PAVILION放送設備概要	株式会社朋栄
11:30 ▶ 11:50	【基本】IP PAVILIONネットワーク設備概要	エイチ・シー・ネットワーク株式会社
12:00 ▶ 12:20	【基本】オーディオ設備概要とST2110-30	ボッシュセキュリティシステムズ株式会社
12:30 ▶ 12:50	【基本】番組制作用IPインターフェース標準化に関するARIBの取り組み	ARIB
13:00 ▶ 13:20	ガイドツアー参加者事前説明会	
13:30 ▶ 13:50	【活用】リモプロの準備と進行	日本放送協会 鳥取放送局
14:00 ▶ 14:20	【基本】PTPによる同期技術	リーダー電子株式会社
14:30 ▶ 14:50	【基本】MoIP ネットワークのテレメトリ監視	東京エレクトロ デバイス株式会社/シスコシステムズ合同会社/華為技術日本株式会社
15:00 ▶ 15:20	ガイドツアー参加者事前説明会	
15:30 ▶ 15:50	【提案】IPネットワークを活用したリモートプロダクションの紹介	東日本電信電話株式会社/エヌ・ティ・ティ・スマートコネクスト株式会社
16:00 ▶ 16:20	【活用】テレビ北海道「マスター IP」導入の考え	株式会社テレビ北海道

11月17日(金)

10:30 ▶ 10:50	ガイドツアー参加者事前説明会	
11:00 ▶ 11:20	【基本】IP PAVILION放送設備概要	株式会社フォトロン
11:30 ▶ 11:50	【基本】IP PAVILIONネットワーク設備概要	NTTインバーティブデバイス株式会社
12:00 ▶ 12:20	【基本】オーディオ設備概要とST2110-30	株式会社タムラ製作所
12:30 ▶ 12:50	【基本】番組制作用IPインターフェース標準化に関するARIBの取り組み	ARIB
13:00 ▶ 13:20	ガイドツアー参加者事前説明会	
13:30 ▶ 13:50	【活用】クラウドとデータセンターの活用について	さくらインターネット株式会社
14:00 ▶ 14:20	【基本】PTPによる同期技術	原田産業株式会社
14:30 ▶ 14:50	【基本】ストリーム監視の必要性について	株式会社インテリジェント ウェイブ/NTTインバーティブデバイス株式会社/リーダー電子株式会社
15:00 ▶ 15:20	ガイドツアー参加者事前説明会	
15:30 ▶ 15:50	【提案】IPネットワークを活用したリモートプロダクションの紹介	NTTビジネスソリューションズ株式会社
16:00 ▶ 16:20	【特別朗読】放送から見たMoIPと通信から見たMoIP ~ IP PAVILION2023デモシステムの成果のここを生かした~	日本放送協会/国立天文台/Zabbix Japan LLC

ロケ弁ラウンジ

▶会場：幕張メッセ 展示ホール4・5
▶協力：ロケーションジャパン/ロケなび！
Inter BEEのお昼の楽しみと言えば、何と言ってもロケ弁。
現場のパワーを引き出す陰の主役、業界の味覚をそのまま楽しみました。

■出店店舗・販売予定メニュー

ドルフィン Dolphin オムライス Dolphin ロコモコ オムライス&ハンバーグ 温まる Dolphin オムライス 温まる Dolphin ロコモコ 等	幕天 牛サガリステーキ重 牛タン二種盛り重
ラジュール東京 中華日替わり弁当 チキンハニーマスタート 牛ミルフィユカツツレツ 特選ステーキプレート	BENT-BENT 麻布十番店 シェフの胸い弁当 とろろとオムライス 本場の味がパオライス ハワイアンロコモコ 黒酢あんーからあげ弁当ー

キッチンひまわり
チキンオーバーライス
ハンバーグオーバーライス
スパイシーポークチャップオーバーライス
フィッシュフライオーバーライス

LUNCH FACTORY
ポーク玉子おにぎりセット
タコライス BOX
牛根菜醤油ダレわっぱ
ロコモコプレート

天麩羅Dining 和木
イカ天丼※お茶付
天丼そばセット※お茶付
天丼うどんセット※お茶付
カツ丼サラダボックス※お茶付

INTER BEE BORDERLESS

メディアには、限界はない。そこには、ビジネスの未来がある。

基調講演 11月16日(木)

KN-162 INTER BEE BORDERLESS 基調講演 国際会議室

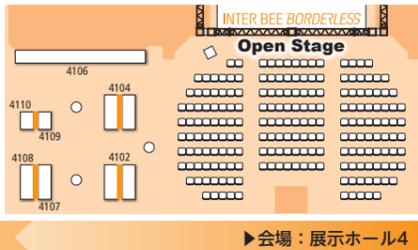
ローカル局長が語る地域メディアの“未来ビジョン”

パネリスト:

- 株式会社東日本放送 代表取締役社長 藤ノ木 正哉氏
- 株式会社CBCテレビ 代表取締役社長 松波 啓三氏
- 山陰中央テレビジョン放送 株式会社 代表取締役社長 田部 長右衛門氏
- 南海放送株式会社 代表取締役社長 大西 康司氏

モデレーター:

- 日本放送協会 放送文化研究所 代表取締役 村上 圭子氏



出展者 ▶会場：展示ホール4

- 4102 (株) J ストリーム
- 4104 (株) ストランダー
- 4106 一般社団法人IPTVフォーラム
- 4107 New Relic (株)
- 4108 マルチスクリーン型放送研究会
- 4109 スカパー JSAT (株)/(株) エフエム東京
- 4110 (株) オルカプロダクション

▶会場：展示ホール4 INTER BEE BORDERLESS内オープンステージ

11月15日(水) BORDERLESS Day

放送コンテンツが電波を超えてボーダレスにどう人々に接触しているかを議論する3つのセッション。キーワードは「トータルリーチ」。コンテンツの尺度をどう設定し、視聴率を見えた価値を見出せるか考え、番組の二重三重の価値を見えた。

11月16日(木) LOCAL Day

ローカル局は、何を武器にすれば生き残れるのか。もはやタブーではないこの議論を、具体的なケーススタディ、経営的なビジョン、地域メディアとの関わりから解き明かした。そこで問われるのは、あらかじめ地域に向き合う姿勢。そのヒントになる3つのセッションを行った。

11月17日(金) FUTURE Day

これまでのビジネスモデルが揺らぎ、未来が見えなくなってきた放送業界。そんな中で、将来像を見出すべく議論した。海外の最新動向と日本での可能性。日本の配信サービスはどう進化するか。そして、放送業界全体の行く先を構想する試み。3つの意欲的なセッションをお届けした。

BL-151 < 10:30>12:00

配信・放送ボーダレスの時代

～先行するオーディエンスにビジネス、制度は追いつけるのか～

意識されたとはいえない。視聴者は放送波経由からネット経由へと接触し、映像コンテンツを楽しむ。総務省の「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」の第2次取りまとめをめぐっては、NHKのネット業務の必須業務化と受信料に注目が集まった。しかし、劇変するメディア環境においては、ボーダレスとなった伝送路・デバイス、情報発信者を理解し、中長期のブランドデザインを描くことが本質だ。本セッションでは、内山先生をお招きし、電通メディアインベションラボの最新調査データを紹介しつつ、日本の映像利用の現状・北米での状況・トータルリーチなどの広告効果指標に触れながら、放送制度の在り方についてクロストークを行った。

モデレーター:

- 株式会社電通 電通メディアインベションラボ 統括責任者 電通総研フェロー 奥 律哉氏

BL-161 < 10:30>12:00

ローカル局の地域課題解決ビジネス

～地域の声对未来を紡ぐ～

近年、地域課題解決をキーワードに、地域で放送を超えた取り組みを検討・実施するローカル局が増えている。この動きは単なるブーム・トレンドなのか？それとも次代のローカル局にとっての「必修科目」なのか？本セッションでは、地域からの「声」(相談「課題」を解決しながら、その取り組みを新たな価値・持続可能なビジネスにアップデートすべく試行錯誤するローカル局の方々にご登壇いただき、地域課題解決ビジネスの現在地を確認・議論し、今後ローカル局が進むべき方向・迫るべき新たな役割を考えた。

モデレーター:

- 株式会社TVQ九州放送 編成局デジタル編成部 永江 幸司氏

BL-171 < 10:30>12:00

FAST・CTVの海外最新動向と日本のリアル

世界のメディアを取り巻く最新のキーワード[FAST]と[CTV]。FASTはFree Ad-supported Streaming TVの略称で無料広告型のリニア配信サービス。SVODが頭打ちしつつある中で米国で著しい発展を見せている。CTVはネット接続されたテレビのことで急速にユーザー数を伸ばし、欧米を中心に新たなビジネスモデルを拡大している。昨年の基調講演で好評を博したこのテーマを深掘りし、登壇者である海外事情に詳しい専門家たちから、最新トレンドについて報告した。さらに日本のコンテンツ市場に与えるインパクトについて、俯瞰的分析を交えディスカッションを行った。

モデレーター:

- 株式会社TBSテレビ メディア企画室 担当部長 高澤 宏昌氏
- 株式会社SHIFT 映像戦略コンサルタント 奥村 文隆氏
- コンテンツビジネス・ジャーナリスト 長谷川 朋子氏
- PWC コンサルティング 合同会社 マネージャー 山畑 健太郎氏

BL-152 < 13:00>14:30

ウェブニュースの現在地

～放送局のデジタル報道とプラットフォーム～

ニュース需要が急激に高まったコロナ禍を経て、ウェブでのニュースを取り巻く環境は激しい変化を続けている。テキスト記事だけでなく、動画・ニュースがさまざまな媒体やプラットフォームで配信されるようになり、人々の生活の中にウェブでの映像・ニュース視聴が浸透。一方、ウェブコンテンツのフォーマットは多様化し、プラットフォームに合わせたコンテンツを制作・配信することの重要性が高まっている。良質なニュースをより多くのユーザーに届け、トータルリーチを高めるために、放送局はデジタルプラットフォームとどう向き合うのか、どんな成功例があるのか、どんな課題があるのか、ウェブニュースの現状を担うパネリストとともに考えた。

※前半は泉通による講演、後半はモデレーターとパネリストによるディスカッション形式で進んだ。

モデレーター:

- 日本テレビ放送網株式会社 報道局長/メディア戦略部 部長 三日月 儀雄氏
- 講義: グーグル合同会社 ヘッドオブニュース/トータルリーチ YouTube Japan 永原 鏡太郎氏
- LINEヤフー株式会社 ヤフーメディア7部 部長/ライオンズビジネス企画部 部長/Yahoo!ニュースコンテンツプロダクト 部長 藤原 光昭氏
- 株式会社テレビ朝日 報道局 クロスメディアセンター長 西村 大樹氏

BL-163 < 15:00>16:30

CATV発、地域“超”密着コンテンツの作り手に学ぶ、地域メディアの可能性

ケーブルテレビは、地域メディアとしての重要度が増しており、インフラの担い手としても注目されている。そのケーブル業界で、地上波テレビの制作者たちの活動が始まっている。それと併せてきた創造性や、地域にもっと密着するために生かす取り組みが生まれているのだ。このセッションは、日本ケーブルテレビ連盟の協力を得て、3人の作り手に集まってもらった。“超”密着コンテンツの事例とその考え方は、地上波ローカル局にとっても参考になったはずだ。ケーブルテレビと地上波テレビの交流のきっかけになればとも考え、業界の壁を越えて多くの方に聴いていただいた。

モデレーター:

- 一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 常務理事 二瓶 浩一氏
- パネリスト: コンテンツ合同会社 代表社員 土屋 敏男氏
- 株式会社アマゾンラテナ 局長/大山オフィス 局長/大山オフィス代表 総合プロデューサー 貝本 正紀氏
- 株式会社長崎ケーブルメディア 放送部 部長 大野 陽一郎氏

BL-172 < 13:00>14:30

配信サービスはVODの次に進むか

日本の映像配信市場はコロナ禍が後押しとなり、ここ数年で大きく伸びている。一方で、米国巨大資本のサービスの急成長も目撃された。また放送局の対立構造でもなく、協業関係も生まれてきた。これはどう方向へ進化するか配給が感じられる。そこでこのセッションでは独自の異なる配信サービスのキーマンに集まっていただき、今後について自由にディスカッションを行った。またこの日の午前中のセッションで紹介された海外の事例も参考に、CTVやFASTの可能性も考え、放送業界の成長性を持つ配信市場の未来を構想するセッションを行った。

モデレーター:

- メディアコンサルタント 境 治氏
- 株式会社U-NEXT 取締役 COO 本多 利彦氏
- 株式会社TVer 常務取締役 COO 蛭川 新治郎氏
- 株式会社フジテレビジョン ビジネス推進局 コンテンツビジネスセンター プラットフォーム事業部長 野村 和生氏

BL-153 < 15:00>16:30

ドラマの未来を変える、広告とデータアナリティクス

メディア環境が激変する今、TVドラマの収益を最大化する方法論の1つに「トータルリーチ戦略」がある。地上波とキャッチアップ、OTTを合わせた総視聴者数＝トータルリーチを新たな指標とするビジネスモデルだ。これを促進し、データアナリティクスの活用によって、広告の価値も高めるものになるのではないかと、カンテレ制作ドラマ「魔法のリノベ」の成功事例から、提供社LIXILの「プロモーション効果」とREVISIO社の検証データからドラマコンテンツの未来像を考えた。

モデレーター:

- コンテンツビジネス・ジャーナリスト 長谷川 朋子氏
- パネリスト: 関西テレビ放送株式会社 コンテンツビジネス企画 部長 竹内 伸幸氏
- REVISIO株式会社 取締役 共同創業者 河村 嘉樹氏
- LIXIL株式会社 ブランド&マーケティングストラテジー統括部 マーケティングコミュニケーション部 リーダー 五十嵐 千賀氏

BL-164 < 14:00>14:45

5年後には仕事なくなる！？

IMAGICA Lab.が描くポスプロ未来予想図

パネリスト:

- 株式会社IMAGICA Lab. CMプロダクション事業部 クリエイティブグループ エディター/コンポジット 穴戸 佑樹氏
- 株式会社IMAGICA Lab. CMプロダクション事業部 MAグループ ミキサー 吉田 玲一氏
- 株式会社IMAGICA Lab. TVプロダクション事業部 映像制作部 赤坂・渋谷Eグループ 課長増佐/エディター 鈴木 敬典氏
- 株式会社IMAGICA Lab. TVプロダクション事業部 音響制作部 菅原 浩一氏
- 株式会社IMAGICA Lab. TVプロダクション事業部 赤坂・渋谷Eグループ 課長/ミキサー 久慈 匡教氏

進行:

- 株式会社IMAGICA Lab. 経営管理本部 経営企画部 技術戦略担当/エグゼクティブアドバイザー 菊田 和弥氏

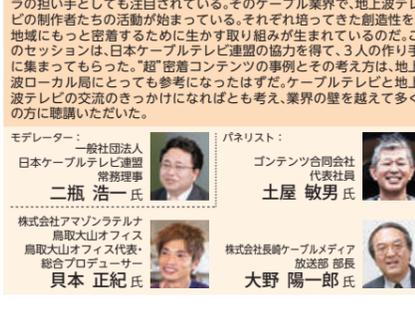
BL-173 < 15:00>16:30

テクノロジー視点で放送業界の“ブループリント”を構想する

海外の放送事情を目的にすると、日本の政策議論の枠組みが狭すぎることを実感する。放送と通信、テレビとスマホ、このような区分けをして考えること自体が、既存の概念に囚われすぎているのではないかと、では、もしも真つ白なキャンバスから自由に未来像を描けるのだとしたら、もしも未来を想定し逆算して議論を組み立てるバックキャストのアプローチがとれるのだとしたら、放送業界のブループリントはどのような姿になるのだろうか。放送プラットフォームの進化からプラチナバンドの未来まで、デジタルの急速な波にいていくのが難しいと感じる人たちにもご参加いただき、共に考えていくセッションになった。

モデレーター:

- 日本放送協会 放送文化研究所 代表取締役 村上 圭子氏
- パネリスト: 株式会社 企 代表取締役 クロサカ タツヤ氏
- 株式会社イコーゼ 代表取締役 大吉 なぎさ氏
- 一般社団法人 NHK財団 技術事業本部 システム技術部 上級研究員 武智 秀氏



BL-165 < 15:00>15:45

制作データを解き放て！

～世界規模の映像制作ワークフローとその先のAIの話～

パネリスト:

- デル・テクノロジー株式会社 Business Development & Alliances - Media & Entertainment, Product and Solutions Sales Specialist アレックス ティム氏
- デル・テクノロジー株式会社 UDS事業本部 SE0 アドバイザリ/システム エンジニア 天野 献士氏

BL-174 < 14:15>15:00

映像制作に3Dを取り入れよう！

Adobe Substance 3D 最新アップデート

パネリスト:

- 株式会社マリモレコース デジタルシネマクリエイター 江夏 由洋氏
- アドビ株式会社 エンタープライズ製品戦略部 3D Strategic Sales Specialist 水谷 肇志氏

BL-166 < 16:00>16:45

戦時中のウクライナから映画監督がやってきた

パート2 ～映画「キャロル・オブ・ザ・ペル 家族の絆を奏でる詩(うた)」で伝えたかったこと<今>

映画監督/ウクライナ公共放送 映像ディレクター オレシア・モルグレットツ=イサイエンコ氏

パネリスト:

- INTER BEE CREATIVE ディレクター 結城 崇史氏

BL-167 < 11:30>12:15

HDRやHFRなどの高度フォーマットを活かした映像制作と楽しみ方

パネリスト:

- 株式会社電通 電通メディアインベションラボ 主任研究員 天野 彬氏
- 株式会社BitStar ショート動画 プロデューサー 葉 悠莉氏

BL-175 < 15:15>16:00

『映像業界のXRコンテンツへの挑戦』

XR領域における映像表現の可能性と、未来のクリエイターを生み出す仕組みとは。

パネリスト:

- 日本テレビ放送網株式会社 社長室新規事業部 チーフアドバイザー/ディレクター 藤井 彩人氏
- アドビ株式会社 エンタープライズ製品戦略部 3D Strategic Sales Specialist 水谷 肇志氏
- 株式会社Vook Vook編集長 沼倉 有人氏

INTER BEE CREATIVE

映像制作の最新技術と新たな領域を発信！

基調講演 11月17日(金)

KN-173 INTER BEE CREATIVE 基調講演 国際会議室

「映像の力は社会に何を問いかけるか？そしてその可能性とは？」

～映画「キャロル・オブ・ザ・ペル 家族の絆を奏でる詩(うた)」を制作して

映画監督/ウクライナ公共放送 映像ディレクター オレシア・モルグレットツ=イサイエンコ氏

パネリスト:

- 映像ディレクター・作家 貴志 謙介氏
- INTER BEE CREATIVE ディレクター 結城 崇史氏

出展者 ▶会場：展示ホール5

For Entertainment

- 5009 (株) クープ
- 5010 レスパスビジョン(株)
- 5011 (株) サウンド・シティ
- 5012 (株) IMAGICA Lab.
- 5013 一般社団法人日本ポストプロダクション協会
- 5014 メタバース プロダクション

For Marketing 動画マーケティングラウンジ

- 5004
- 5006
- 5003
- 5005
- 5007

5013

5014

5009

5003 (株) 火燧

5004 (株) サムシングファン

5005 (株) MEATUS

5006 (株) スペースシャワーネットワーク/(株) SEP

5007 (株) WAS

▶会場：展示ホール5 INTER BEE CREATIVE内 オープンステージ

11月15日(水)

CR-151 < 10:30>11:30

海外先端LEDディスプレイと日本のバーチャルプロダクション制作

パネリスト:

- Absen Japan株式会社 副社長 高須 誠一氏
- シリコンコア・テクノロジー合同会社 代表 梅村 誠氏
- アークベンチャーズ株式会社 COO 谷川 真也氏
- 奥拓電子日本株式会社 代表 単 振鶴氏

進行:

- フリージャーナリスト 川田 宏之氏
- ポストプロダクション・スーパーバイザー 森 俊文氏

CR-157 17:00▶17:30

ストップモーション時代劇「HIDARI」

クリエイティブの舞台裏

パネリスト:

- Whatever Co. CCO/クリエイティブ・ディレクター 川村 真司氏
- プロデューサー 松本 紀子氏
- 株式会社 電通 電通メディアインベションラボ 主任研究員 天野 彬氏
- 株式会社BitStar ショート動画 プロデューサー 葉 悠莉氏

CR-166 < 16:00>16:45

戦時中のウクライナから映画監督がやってきた

パート2 ～映画「キャロル・オブ・ザ・ペル 家族の絆を奏でる詩(うた)」で伝えたかったこと<今>

映画監督/ウクライナ公共放送 映像ディレクター オレシア・モルグレットツ=イサイエンコ氏

パネリスト:

- INTER BEE CREATIVE ディレクター 結城 崇史氏

CR-152 < 12:00>12:45

映像制作におけるリアルタイムテクノロジーの活用

パネリスト:

- 株式会社TBSテレビ メディア企画室 担当部長 高澤 宏昌氏
- 株式会社SHIFT 映像戦略コンサルタント 奥村 文隆氏
- コンテンツビジネス・ジャーナリスト 長谷川 朋子氏
- PWC コンサルティング 合同会社 マネージャー 山畑 健太郎氏

CR-161 < 10:30>11:15

ソーシャルメディアのための動画クリエイティブ

パネリスト:

- 株式会社 電通 電通メディアインベションラボ 主任研究員 天野 彬氏
- 株式会社BitStar ショート動画 プロデューサー 葉 悠莉氏

CR-171 < 10:30>11:15

AIが映像制作の未来を変える！

アドビのビデオ製品ロードマップと Creative Cloud最新アップデート

パネリスト:

- アドビ株式会社 エンタープライズ製品戦略部 Video Strategic Business Development Manager 高橋 絵未氏

CR-153 < 13:00>13:45

Unreal Engineで作るバーチャルライブ制作の舞台裏

パネリスト:

- 株式会社TBSテレビ アニメーション制作部 部長/ディグCon6 Asia事務局 事務局 山口 泰広氏
- INTER BEE CREATIVE ディレクター 結城 崇史氏

CR-162 < 11:30>12:15

HDRやHFRなどの高度フォーマットを活かした映像制作と楽しみ方

パネリスト:

- 株式会社グループ スタジオ本部/デジタル報道部/スタジオコーディネーター/グループディレクター/バイザー 今塚 誠氏
- ソニー株式会社 商品技術センター商品技術戦略室 Distinguished Engineer 小倉 敏之氏

CR-172 < 11:30>12:15

Frame.ioのCamera to Cloudを使った次世代のチーム編集ワークフロー

パネリスト:

- 株式会社マリモレコース デジタルシネマクリエイター 江夏 由洋氏

CR-154 < 14:00>14:45

アジアクリエイターの躍進！

～2023DigiCon6 Asia アワードを振り返って

パネリスト:

- 株式会社TBSテレビ アニメーション制作部 部長/ディグCon6 Asia事務局 事務局 山口 泰広氏
- INTER BEE CREATIVE ディレクター 結城 崇史氏

CR-163 < 13:00>13:45

大河ドラマ「どうする家康」で取り組んだバーチャルプロダクション

パネリスト:

- 日本放送協会 大河ドラマ「どうする家康」演出統括 加藤 拓氏
- 株式会社 電通 電通メディアインベションラボ 主任研究員 天野 彬氏
- 株式会社 電通 電通メディアインベションラボ 主任研究員 天野 彬氏
- 株式会社 電通 電通メディアインベションラボ 主任研究員 天野 彬氏

CR-173 < 13:00>14:00

ウルトラセブン × “Adobe Firefly” -

クリエイターの創造性を拡張する生成AIの世界

パネリスト:

- アドビ株式会社 エンタープライズ製品戦略部 シニアマネージャー 宇野 香織氏

CR-155 < 15:00>15:45

クリエイティブワークスペース Tech Design Xが切り拓く未来とVP/XR技術を使った最新番組事例の紹介

パネリスト:

- 株式会社TBSテレビ メディアテクノロジー/未来技術設計部 トップスペシャリスト 藤本 剛氏
- 株式会社TBSアクティブデザイン本部/CGセンター 未来技術推進部 副部長 青木 貴則氏
- 株式会社TBSアクティブデザイン本部/照明技術部 副部長 中川 清志氏

CR-164 < 14:00>14:45

5年後には仕事なくなる！？

IMAGICA Lab.が描くポスプロ未来予想図

パネリスト:

- 株式会社IMAGICA Lab. CMプロダクション事業部 クリエイティブグループ エディター/コンポジット 穴戸 佑樹氏
- 株式会社IMAGICA Lab. CMプロダクション事業部 MAグループ ミキサー 吉田 玲一氏
- 株式会社IMAGICA Lab. TVプロダクション事業部 映像制作部 赤坂・渋谷Eグループ 課長増佐/エディター 鈴木 敬典氏
- 株式会社IMAGICA Lab. TVプロダクション事業部 音響制作部 菅原 浩一氏
- 株式会社IMAGICA Lab. TVプロダクション事業部 赤坂・渋谷Eグループ 課長/ミキサー 久慈 匡教氏

進行:

- 株式会社IMAGICA Lab. 経営管理本部 経営企画部 技術戦略担当/エグゼクティブアドバイザー 菊田 和弥氏

CR-174 < 14:15>15:00

映像制作に3Dを取り入れよう！

Adobe Substance 3D 最新アップデート

パネリスト:

- 株式会社マリモレコース デジタルシネマクリエイター 江夏 由洋氏
- アドビ株式会社 エンタープライズ製品戦略部 3D Strategic Sales Specialist 水谷 肇志氏

CR-156 < 16:00>16:45

戦時中のウクライナから映画監督がやってきた

パート1 ～映画「キャロル・オブ・ザ・ペル 家族の絆を奏でる詩(うた)」で伝えたかったこと<戦争前>

映画監督/ウクライナ公共放送 映像ディレクター オレシア・モルグレットツ=イサイエンコ氏

パネリスト:

- INTER BEE CREATIVE ディレクター 結城 崇史氏

CR-165 < 15:00>15:45

制作データを解き放て！

～世界規模の映像制作ワークフローとその先のAIの話～

パネリスト:

- 株式会社IMAGICA Lab. CMプロダクション事業部 MAグループ ミキサー 吉田 玲一氏
- 株式会社IMAGICA Lab. TVプロダクション事業部 映像制作部 赤坂・渋谷Eグループ 課長増佐/エディター 鈴木 敬典氏
- 株式会社IMAGICA Lab. TVプロダクション事業部 音響制作部 菅原 浩一氏
- 株式会社IMAGICA Lab. TVプロダクション事業部 赤坂・渋谷Eグループ 課長/ミキサー 久慈 匡教氏

進行:

- 株式会社IMAGICA Lab. 経営管理本部 経営企画部 技術戦略担当/エグゼクティブアドバイザー 菊田 和弥氏

CR-175 < 15:15>16:00

『映像業界のXRコンテンツへの挑戦』

XR領域における映像表現の可能性と、未来のクリエイターを生み出す仕組みとは。

パネリスト:

- 日本テレビ放送網株式会社 社長室新規事業部 チーフアドバイザー/ディレクター 藤井 彩人氏
- アドビ株式会社 エンタープライズ製品戦略部 3D Strategic Sales Specialist 水谷 肇志氏
- 株式会社Vook Vook編集長 沼倉 有人氏

INTER BEE IGNITION × DCEXPO

クリエイティブエコノミーに火をつけろ! メディアの革命!

コロナ禍での変革期に、メタバースやNFT、生成AIは新たなクリエイティブエコノミーの火付け役となった。これらの技術は、伝統的なメディアの境界を超え、世界中のクリエイターに無限の可能性を提供している。しかし、この新しい世界において成功するためには、どのようなプラットフォーム、ツール、マインドセットが必要なのか? 第一線で活躍しているクリエイター、起業家、専門家がグローバルを目指すために欠かせない戦略と考え方について深く掘り下げた。

基調講演

11月17日(金) 10:30-11:30 **KN-171** INTER BEE IGNITION×DCEXPO 基調講演 **国際会議室**

HMDの進化が駆動するVRの未来 [日英逐次通訳付き]

パネリスト: Meta リアリティラボ・リサーチ **Yang Zhao** 氏 (東京大学 教授 総長特任補佐 先端科学技術研究センター 副所長 **稲見 昌彦** 氏)

モデレーター: 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究センター 情報科学領域 教授 **清川 清** 氏



企画セッション

会場: 展示ホール3 INTER BEE IGNITION×DCEXPO内 オープンステージ

11月15日(水)

IG-151 10:30▶12:00

先進映像協会 ルミエール・ジャパン・アワード2023 表彰式

良質な4K・8K・VR作品へ贈られるルミエール・ジャパン・アワードと、当該分野の発展への寄与が期待される取り組みへ贈られるグッドプラクティス・アワードの、今年度の受賞者を表彰・公表した。

IG-155 12:20▶12:35

出展者プレゼンテーション (株)Nefront

IG-152 13:00▶14:00

クリエイターとファンエンゲージメントが紡ぐ未来 ~DAO型IP、フィジタルの可能性、UEFNによるDAY1からグローバルへの挑戦~

パネリスト: NORIFORCE 代表 **中田 宣明** 氏 (メタバースクリエイター **MISOSHITA** 氏)

パナダイナムコエンターテインメント 第3IP事業ディビジョン ニュージンズプロダクション マネージャー **吉本 行気** 氏

株式会社HEART CATCH 代表取締役 **西村 真里子** 氏

IG-153 14:30▶15:30

DCEXPO企画: クリエイティブAIとAIDXが拓く新市場 -メタバース・放送・メディアアートのその先に-

デジタルハリウッド大学 客員教授 **白井 暁彦** 氏

IG-154 16:00▶17:00

Apple Vision Pro到来に備えよ! クリエイターが準備すべきXR/ハプティクス

パネリスト: フリーランス/ジャーナリスト **林 信行** 氏

ソニーグループ株式会社 コーポレートテクノロジー 戦略部門 コンテンツ技術&アライアンスグループ 統括部長 **戸村 朝子** 氏

ナイアンティック インク 副社長 **川島 優志** 氏

モデレーター: 株式会社HEART CATCH 代表取締役 **西村 真里子** 氏

IG-156 17:15▶17:30

出展者プレゼンテーション (株)One by One Music

11月16日(木)

IG-161 10:30▶11:30

DCEXPO企画: 世界での挑戦者から見る日本の課題とその解決策 ~ドラマ YOYOKAの父、CashiCake三木アリッサ、奥田浩美

パネリスト: Cashi Cake, Inc. (dba : Misaky, Tokyo/OoMee) CEO **三木 アリッサ** 氏 (株式会社バランススタジオ 取締役/ドラマ「YOYOKA」の父 **相馬 章文** 氏)

株式会社ウィズグループ 代表取締役 **奥田 浩美** 氏 (株式会社HEART CATCH 代表取締役 **西村 真里子** 氏)

モデレーター: 株式会社HEART CATCH 代表取締役 **西村 真里子** 氏

IG-162 12:00▶13:00

スタートアップ&出展者ピッチ

瞬景 (株)PBADAO (株)Sparkup / Meet&Connect (株)フアシリティジャパン 東京大学 / (株)スプラインデザインハブ

IG-163 13:30▶14:30

DCEXPO企画: このクソ素晴らしいWeb3の世界 ~あたらしい世界観が提示する世界を考える~

パネリスト: 株式会社幻冬社 あたらしい経済 編集長 **設楽 悠介** 氏 (株式会社アロクチェーン 戦略政策研究所 代表取締役 **樋田 桂一** 氏)

モデレーター: 株式会社アロクチェーン 代表取締役 **樋田 桂一** 氏

IG-164 15:00▶17:30

未来のメディア共創へ: テレビ局×スタートアップピッチ

5月に開催した「Start-up Reverse Pitch」(テレビ局が求めるスタートアップを紹介)で求められていた、ソリューションを持つスタートアップを集めてINTER BEE IGNITION×DCEXPO会場 で該当テレビ局に向けてピッチを行った。

ピッチスタートアップ: 株式会社Unyte 代表取締役CEO **上泉 雄輝** 氏 (株式会社VESS Labs 代表取締役社長 **藤森 侃太郎** 氏)

SOUNDRAW株式会社 CEO **楠 太吾** 氏 (株式会社Magic Shields 代表取締役 **下村 明司** 氏)

株式会社アロマJOIN 代表取締役社長 **金 東煜** 氏 (株式会社paramita 取締役 **高瀬 俊明** 氏)

参加テレビ局: 株式会社テレビ朝日 ビジネスソリューション本部 IoT局 インターネット・オブ・テレビジョンセンター **増澤 晃** 氏 (株式会社テレビ朝日 ビジネスソリューション本部 IoT局 インターネット・オブ・テレビジョンセンター **増澤 晃** 氏)

株式会社テレビ東京 ビジネスソリューションチーム プロデューサー **林 克征** 氏 (株式会社RKB毎日 ホールディングス プロデューサー **野田 大貴** 氏)

日本テレビ ホールディングス株式会社 経営戦略局R&Dラボ 担当副部長 **加藤 友規** 氏 (株式会社フジテレビジョン 報道センター・部長職プロデューサー **清水 俊宏** 氏)

モデレーター: 株式会社HEART CATCH 代表取締役 **西村 真里子** 氏

11月17日(金)

IG-171 10:30▶12:30

出展者プレゼンテーション

artics (株)Qoncept テクノスピーチ ViXion (株) bestat (株) MITSUME

IG-172 13:30▶14:30

DCEXPO企画: ACM SIGGRAPH招聘トークセッション: AIはCG研究・教育の現場でどう活用されているか

世界最大のCGとインタラクティブ技術の国際学会ACM SIGGRAPHよりお招きするスピーカーによるトークセッション。

University of New South Wales (UNSW) Sydney Lecturer, SIGGRAPH Asia 2023 Conference Chair, SIGGRAPH 2024 Frontiers Program Chair **June Kim** 氏 (株式会社オー・エル・エム・デジタル 技術顧問 株式会社IMAGICA GROUP アドバンストリサーチグループ Principal Researcher Victoria University of Wellington (ニュージーランド) Adjunct Professor SIGGRAPH Asia 2018 Conference Chair **安生 健一** 氏)

IG-173 15:00▶16:00

17LIVEのライバーと次世代スターアップと語る、世界に通用するエンタメとコンテンツ

パネリスト: 株式会社Stroly 代表取締役社長/共同CEO **高橋 真知** 氏 (TOTEMO・CSO **小林 未菜実** 氏)

株式会社Bocek 代表取締役 **沖村 昂志** 氏 (一般社団法人ゲームカルチャー協会 代表理事 **松岡 雅幸** 氏)

Takeoff Tokyo Organizer **Antti Sonninen** 氏

ライバー: イチナナライバー **清 桜銘** 氏 (イチナナライバー **スラたん** 氏)

IG-174 16:15▶17:00

POPの鬼才MITSUMEのデジタル・ライブ・ペインティング

INTER BEE IGNITION × DCEXPO

スタートアップネットワーキングレセプション

新たなビジネスパートナーシップを築き、未来のメディアエコシステムを築く基盤を作るチャンスとして、ネットワーキングイベントを開催した。

日時 11月16日(木)17:45~19:00

場所 展示ホール3 オープンステージ

協力 Startup Lady Japan Takeoff Tokyo

Inter BEE 2023 オンライン会場

11月6日(月)から12月15日(金)まで、幕張メッセ会場の情報発信の場としてオンライン会場をオープン。オンライン会場では、特別企画プレセッションや出展者セミナー、および出展者ページを公開しました。

特別企画プレセッション

11月6日(月)

IG-101 12:00▶13:30

DCEXPO企画: 超AI時代の価値創造-創賞・匠賞受賞記念トークセッション-



チームラボ 代表 **猪子 寿之** 氏 (連続起業家/ベンチャー投資家 **孫 泰蔵** 氏) (アーティスト/東京大学名誉教授 **河川 洋一郎** 氏)

IG-102 14:00▶15:30

DCEXPO企画: TechBizピッチバトル ~世界に放つ、日本のコンテンツテクノロジー~



モデレーター: コミュニケーション・コンサルタント **田邊 香菜子** 氏

ゲストコメンテーター: Toyonaka Investment and Consultancy Pte Ltd. Executive Director **CHAN Wei Siang** 氏 (Comms & Research, Intertrust Technologies Director **Phil Keys** 氏) (Novarizer CEO **Shan Lu** 氏)

Simplygon (Country Manager/ HJ Productions (VP Asia) **Stephane Beaulieu** 氏 (NVIDIA / ACM SIGGRAPH 代表取締役CEO・共同創業者 **シデナム 慶子** 氏)

メンター: ティー・エス・アイ株式会社 取締役会長 **往西 裕之** 氏 (株式会社HEART CATCH 代表取締役 **西村 真里子** 氏) (経済産業省 産業技術環境局 大学連携推進室 室長補佐 認定インキュベーションマネージャー **橋詰 忠昭** 氏) (EDGE OF INNOVATION CEO **小田嶋 太輔** 氏)

オンライン出展者ページ

オンライン会場では、出展者の展示製品/サービスの紹介やコンファレンス動画配信、各種特別企画・イベント情報を発信。幕張メッセでの時間を有意義にして頂くために、来場前に情報をチェックする場として活用され、幕張メッセ会場の終了後も、幕張メッセで開催されたコンファレンスのアーカイブ動画配信や追加情報が掲載されました。

オンライン会場掲載コンテンツ

- ・出展者一覧/会場MAP
- ・オンライン出展者ページ
- ・オンライン出展者セミナー
- ・コンファレンス・イベント情報
- ・コンファレンスアーカイブ動画



Visitor Profile

幕張メッセ会場

■ 日別登録来場者数

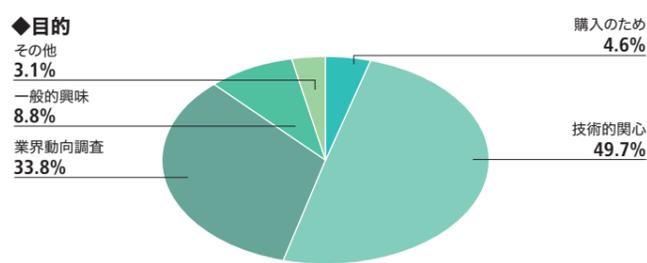
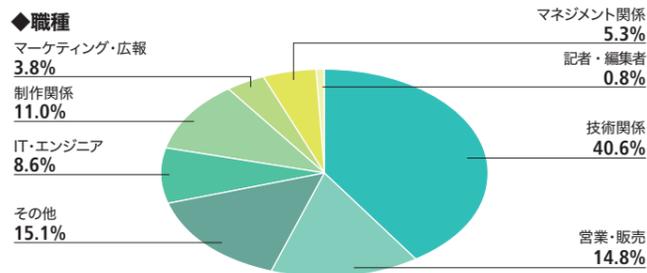
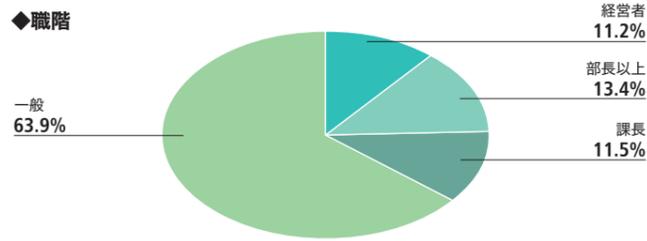
	11/15(水)	11/16(木)	11/17(金)	合計
国内登録来場者数	10,762	10,116	10,049	30,927名
海外登録来場者数	538	169	68	775名
合計	11,300	10,285	10,117	31,702名

■ 登録来場者数の内訳

エリア	国・地域数 / 来場者数	国・地域別の来場者数
日本国内	1カ国 / 30,927名	日本 30,927
アジア地域	14カ国・地域 / 661名	韓国 289 / 中国 106 / 台湾 118 / インドネシア 10 / 香港 54 / タイ 53 / シンガポール 16 / フィリピン 4 / ベトナム 4 / インド 1 / マレーシア 1 / マカオ 1 / スリランカ 3 / カンボジア 1
北中南米地域	2カ国・地域 / 46名	アメリカ合衆国 42 / カナダ 4
大洋州地域	1カ国・地域 / 4名	オーストラリア 4
中東・アフリカ地域	4カ国・地域 / 7名	アラブ首長国連邦 4 / サウジアラビア 1 / ケニア 1 / その他 1
ヨーロッパ地域	15カ国・地域 / 51名	イギリス 16 / イタリア 2 / ドイツ 6 / スペイン 1 / フランス 4 / ベルギー 2 / オランダ 4 / フィンランド 1 / オーストリア 3 / スウェーデン 1 / スイス 1 / アイルランド 1 / アイスランド 3 / スロバキア 5 / アゼルバイジャン 1
合計	37ヶ国・地域	31,702

登録来場者数: 31,702名

■ 来場者の属性



◆業種

機器メーカー	14.7%	通信事業者	2.6%
民間放送テレビ局	9.7%	インターネット関連・Web制作・Webサービス	2.4%
学生	9.2%	舞台・演出・美術・照明・ファッション関連	2.2%
映画・映像制作会社・ビデオグラファー	7.5%	CATV関係	2.1%
ポストプロダクション	5.6%	コンテンツ配信事業者	1.6%
その他ゲスト	5.6%	興行・イベント企画・広告代理店	1.6%
システムインテグレーション	5.5%	レコード制作会社・音楽制作・音楽家	1.5%
その他ユーザ	4.7%	劇場・娯楽・施設・店舗関係	1.5%
商社	4.6%	官公庁・団体	1.4%
PA関係	3.9%	その他メディア(出版・Web等)	1.1%
NHK	3.5%	民間放送ラジオ局	0.8%
プロダクション	3.4%	ビデオソフト制作会社	0.3%
コンテンツ制作関連	3.1%		

◆関心(複数回答)

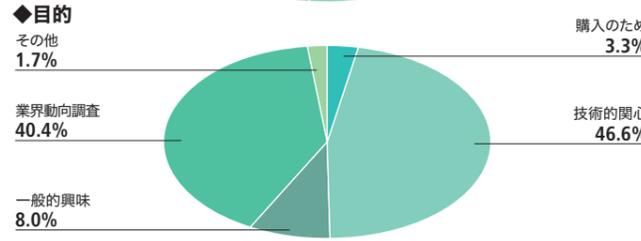
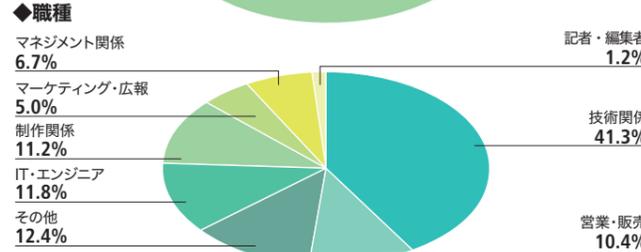
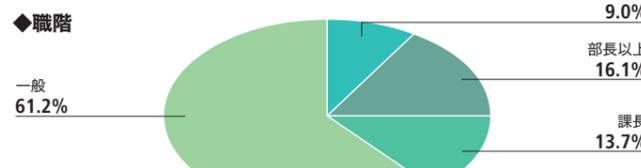
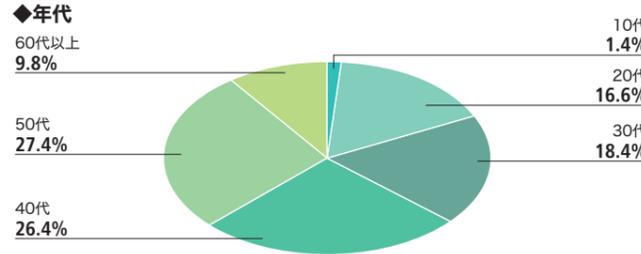
映像機器全般	55.1%	送出システム	8.6%
オーディオ機器全般	36.1%	サーバ・ストレージ	8.1%
カメラ	25.1%	OTT,SNS,セカンドスクリーン関連	7.7%
配信システム	17.0%	送信システム	7.4%
編集・制作装置	16.6%	パブリックビューイング プロジェクションマッピング,デジタルサイネージ	6.8%
スピーカ	15.1%	広告/マーケティングサービス	6.7%
VR,AR,3D,メタバース	15.0%	各種特機・周辺製品	5.6%
クラウドサービス関連	14.1%	制作管理システム	5.5%
映像モニタ	14.1%	デジタルシネマ	5.3%
ミキサ	13.8%	美術・舞台演出関連	5.3%
マイクロホン	13.6%	測定機器	4.9%
デジタルコンテンツ	12.3%	VTR・メモリアカード・光ディスク	4.1%
ソフトウェア	11.7%	電源装置	3.5%
照明機器	11.2%	その他	1.3%
中継システム	10.2%		

オンライン会場

■ 登録来場者数 期間:11月6日(月)~12月15日(金)

登録来場者数: 13,992名

■ 来場者の属性

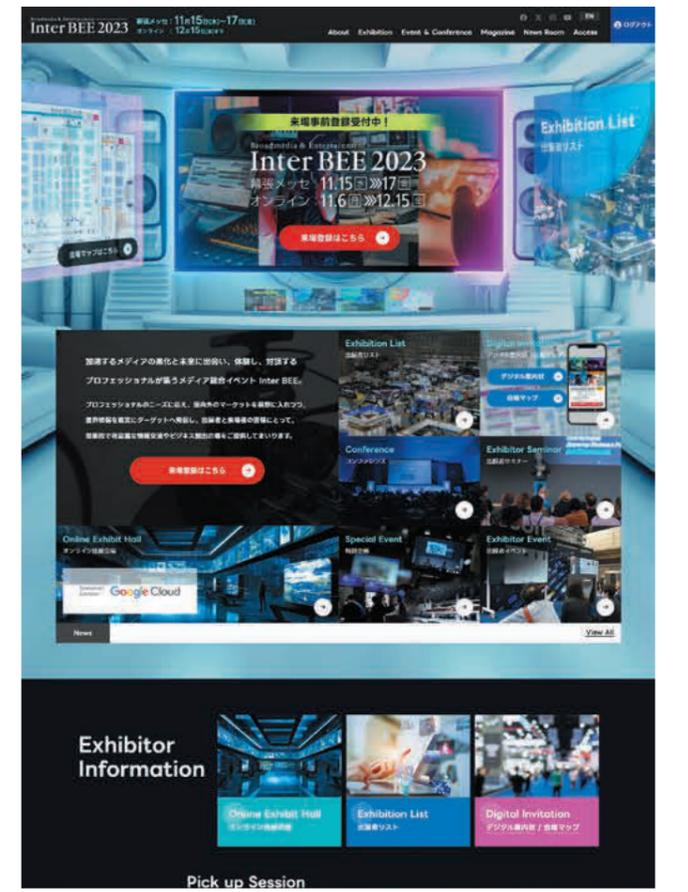


◆業種

機器メーカー	16.3%	CATV関係	3.0%
民間放送テレビ局	15.7%	PA関係	2.5%
ポストプロダクション	5.8%	商社	2.2%
映画・映像制作会社・ビデオグラファー	5.8%	官公庁・団体	1.9%
システムインテグレーション	5.8%	コンテンツ配信事業者	1.8%
NHK	5.5%	興行・イベント企画・広告代理店	1.6%
その他ゲスト	4.6%	その他メディア(出版・Web等)	1.5%
その他ユーザ	4.5%	舞台・演出・美術・照明・ファッション関連	1.2%
学生	4.1%	民間放送ラジオ局	1.1%
コンテンツ制作関連	3.4%	レコード制作会社・音楽制作・音楽家	1.1%
インターネット関連・Web制作・Webサービス	3.2%	劇場・娯楽・施設・店舗関係	1.1%
プロダクション	3.1%	ビデオソフト制作会社	0.2%
通信事業者	3.1%		

◆関心(複数回答)

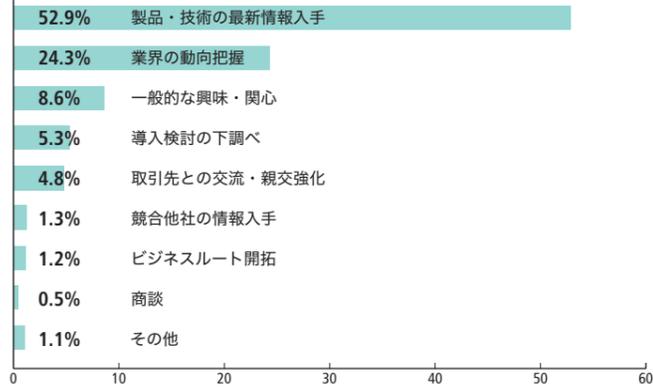
映像機器全般	51.2%	ミキサ	9.4%
オーディオ機器全般	30.0%	サーバ・ストレージ	9.3%
配信システム	22.6%	マイクロホン	9.2%
クラウドサービス関連	21.7%	パブリックビューイング プロジェクションマッピング,デジタルサイネージ	8.8%
カメラ	20.8%	送信システム	8.6%
デジタルコンテンツ	20.2%	照明機器	7.6%
VR,AR,3D,メタバース	20.1%	制作管理システム	7.4%
編集・制作装置	17.8%	デジタルシネマ	6.1%
ソフトウェア	14.4%	測定機器	5.1%
OTT,SNS,セカンドスクリーン関連	13.7%	各種特機・周辺製品	4.8%
中継システム	12.0%	美術・舞台演出関連	4.5%
広告/マーケティングサービス	11.7%	VTR・メモリアカード・光ディスク	3.6%
映像モニタ	11.2%	電源装置	2.7%
送出システム	10.9%	その他	1.5%
スピーカ	10.4%		



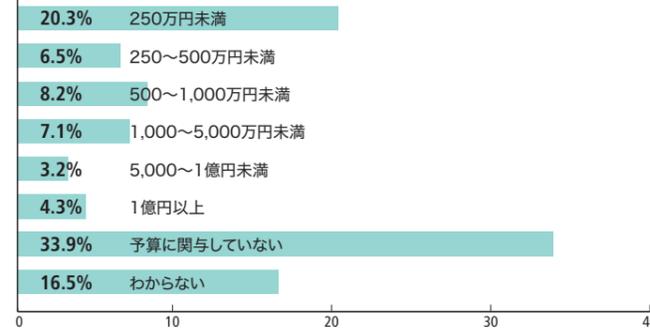
Visitor Profile

来場者アンケート

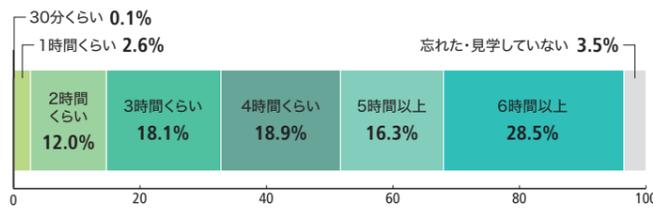
◆『Inter BEE 2023』にご来場された目的を教えてください。



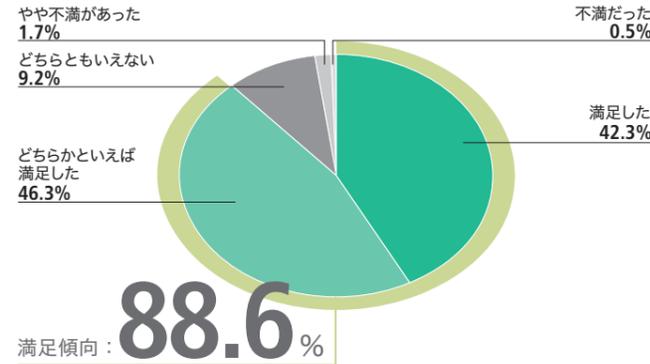
◆あなたが関与する製品・サービスの購入・導入に対する予算は、おおよそ年間いくらくらいですか。



◆『Inter BEE 2023(幕張メッセ会場)』で過ごされた時間を教えてください。2日以上ご来場の場合は、一番長く過ごされた時間でお知らせください。

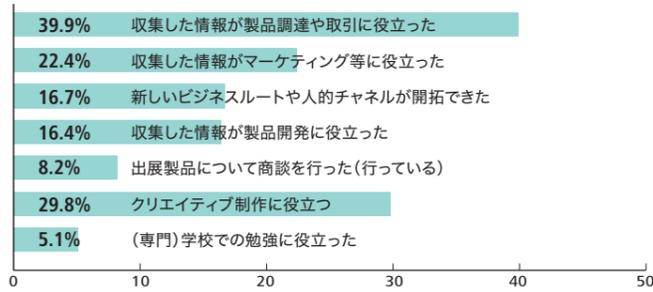


◆『Inter BEE 2023』全体を通して、どの程度満足しましたか。

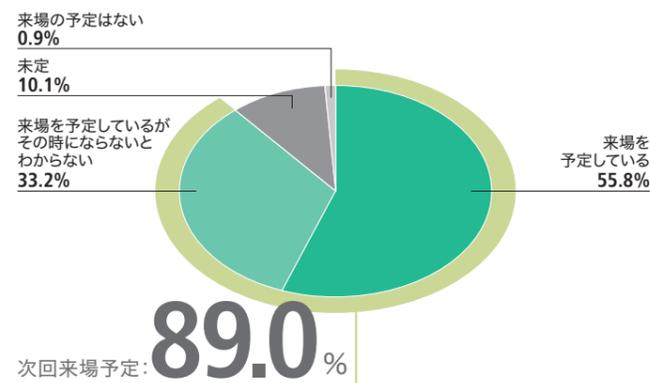


63.7%の人が**4時間以上**滞在しています

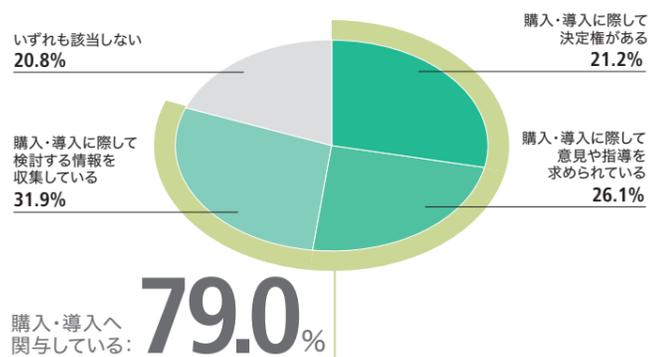
◆『Inter BEE 2023』を見学して、その後のビジネスに役立ちましたか。(複数回答)



◆『Inter BEE 2024』にご来場いただけますか。



◆御社での製品・サービスの購入・導入にあたって、あなたはどの程度関与されていますか。



Exhibitor Profile

部門別出展状況

展示部門	出展者数	小間数
プロオーディオ	266	309
エンターテインメント/ライティング	101	122
映像制作/放送関連機材	515	1,156
メディア・ソリューション	123	117
合計	1,005	1,704

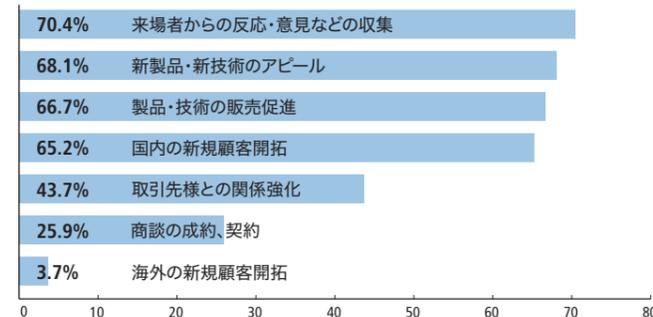
登録出展者数の内訳

エリア	国・地域数/出展者数	国・地域数/出展者数
日本国内	1カ国/477社	日本 477
アジア地域	9カ国・地域/146社	中国 91/韓国 17/台湾 30/香港 1/シンガポール 3/インド 1/インドネシア 1/タイ 1/マレーシア 1
北中南米地域	5カ国/166社	アメリカ 147/カナダ 16/ブラジル 1/メキシコ 1/コスタリカ 1
大洋州・中東・アフリカ地域	3カ国/19社	オーストラリア 10/イスラエル 7/ニュージーランド 2
ヨーロッパ地域	20カ国/197社	イギリス 47/ドイツ 47/フランス 17/スウェーデン 11/オランダ 11/イタリア 15/スペイン 6/ベルギー 10/スイス 7/オーストリア 3/デンマーク 7/ノルウェー 6/ハンガリー 2/フィンランド 1/トルコ 2/クロアチア 1/ラトビア 1/ポルトガル 1/リヒテンシュタイン 1/ウクライナ 1
	38カ国・地域	1,005社

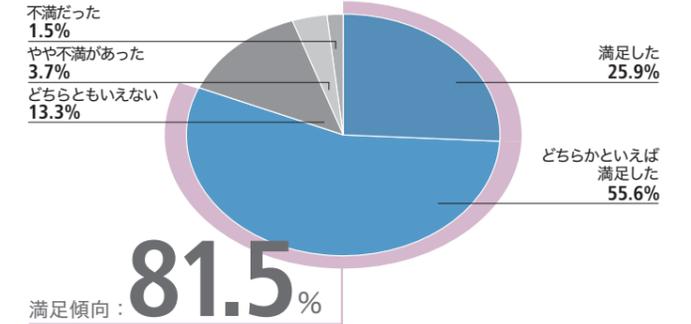
出展者数: **1,005**社 出展国・地域数: **38**カ国・地域

出展者アンケート

◆出展した目的(複数回答)

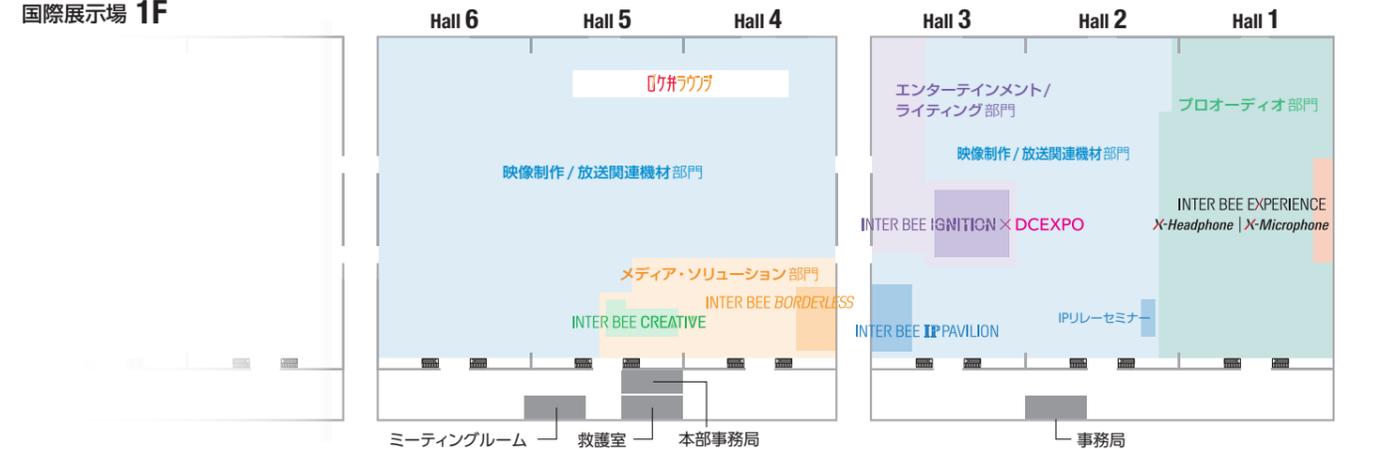


◆今回の目的達成の満足度

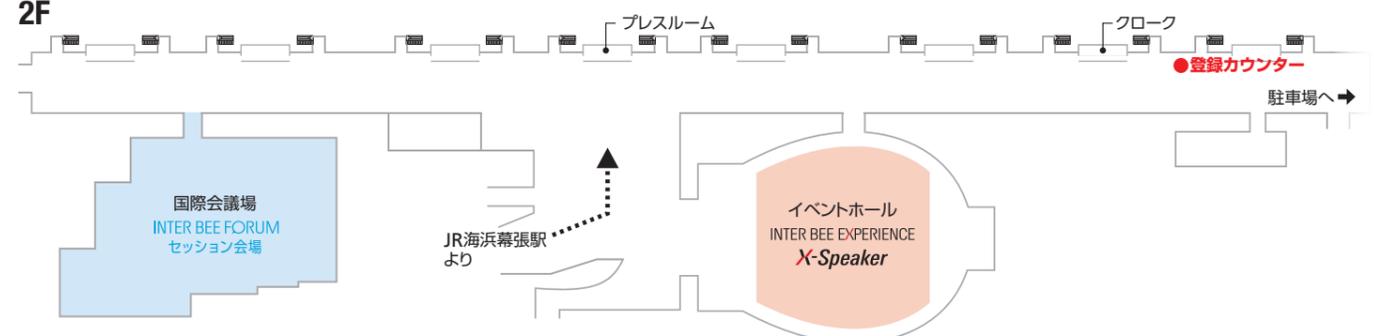


会場構成

国際展示場 1F



2F



Publication and Promotion

■ 広報活動(プレスリリース配信実績)

- *出展募集開始告知リリース(3/1)
- *特別企画『INTER BEE IGNITION×DCEXPO スタートアップエリア』新設リリース(3/16)
- *特別企画『INTER BEE CREATIVE 動画マーケティングラウンジ』新設リリース(3月27日)
- *来場事前登録開始リリース(10/3)
- *特別企画の概要を発表/オンライン会場が先行オープン(11/6)
- *開幕告知リリース(11/14)
- *幕張メッセ期間終了リリース(11/20)
- *オンライン期間終了リリース(12/19)

■ プレス登録者数

253名

■ 主な掲載WEB NEWS (※順不同)

VIDEO SALON	iZOTOPE
PR TIMES	ValuePress
デジカメWatch	ITmediaNEWS
デジカメInfo	マイナビNEWS
PRONWS	CAPA CAMERAWEB
AVWatch	産経新聞
ASCII.jp	PANDA TIMES
PHILEWEB	YahooNEWS
Screens	日刊工業新聞
電波新聞	TECHNO EDGE

■ 主な掲載紙誌 (※順不同)

FDI	電波新聞
特ラ機構	電波タイムズ
Event Marketing	JPPA
月刊B-maga	ビデオ通信
映像新聞	PROSOUND
月刊ニューメディア	Stage Sound Journal
TV technology	協会報FORN
PRONWS	

■ 広告掲載 (※WEB/パナー含む)

映像新聞	IABM
PROSOUND	SSJ
月刊 イベントマーケティング by MICE 研究所	AdverTimes.(アドタイ) by 宣伝会議
B-maga(サテマガ・ビー・アイ)	ビデオ通信
電線新聞	ロケナビ
玄光社	兼六館出版株式会社
NEW MEDIA	株式会社アベルザ
Vook	株式会社ユニワールド
電波新聞	(有)ユニ通信社

■ 放映実績

放送日	局	番組名
11月15日(水)	フジテレビ	ノンストップ
11月16日(木)	ABEMA-TV	ABEMA Morning #1
		ABEMA Morning #2 (再)
11月17日(金)	BayFM	AWAKE
	ラジオ日本	Happy Voice from YOKOHAMA
11月18日(土)	NHK	サタデーウォッチ9
11月27日(月)	NHK	おはよう日本(おはBiz)
12月2日(土)	フジテレビ	週間フジテレビ批評

■ Inter BEE Official Mail Magazine

経年的に蓄積している来場者データベースに向けて最新情報を配信。

2023年1月~12月: 配信 **38**件

1回の配信総数 **98,042**件

■ Inter BEE 公式Website

Inter BEE 公式サイトは、Inter BEE出展者情報を発信するオンライン会場としての活用や、関連イベントや業界の話題性の高い情報を、年間を通じて発信しています。

◆サイト訪問数
(2023年3月~12月)

624,283セッション

◆Online Magazine 記事掲載数

82件



■ 公式 X

◆フォロワー数:
4,526件

◆投稿数:
283件

◆ポストインプレッション:
(2023年1月~12月)
5,373,908件



■ 公式Facebook

◆フォロワー数:
5,900件

◆投稿数:
207件

◆年間リーチ数:
614,223件



■ 公式Instagram

◆フォロワー数:
1,731件 (前年比 122.9%)

◆投稿数:
250件 (ストーリー115件含む)



次回開催のご案内

Future Innovation Canvas: Designing Media and Entertainment.

創造は想像を超えて広がる
メディアとエンターテインメントの可能性



60th
ANNIVERSARY

Broadmedia & Entertainment

Inter BEE

2024.11.13(水)▶15(金) 幕張メッセ

www.inter-bee.com

#interbee2024

